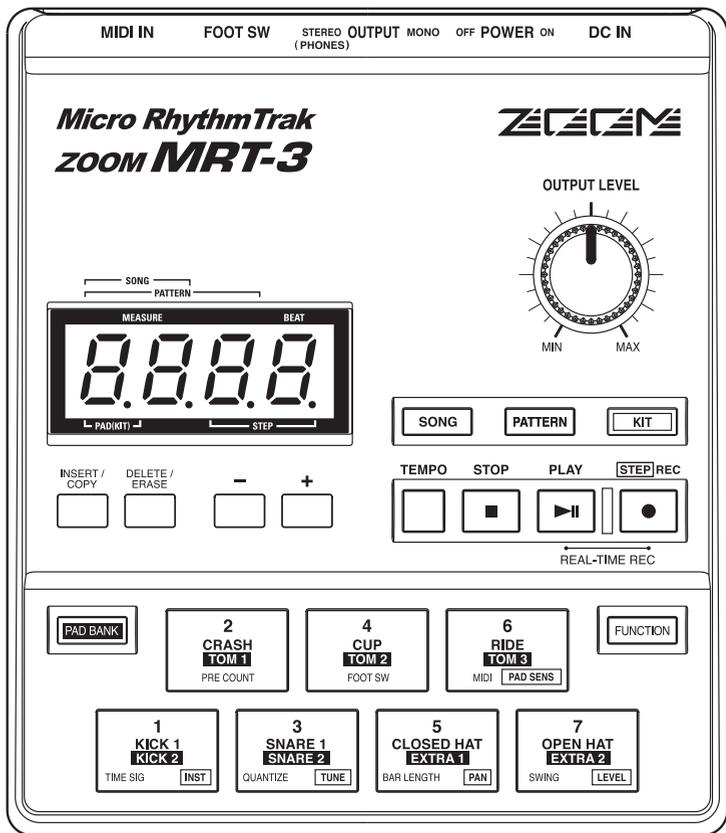




Micro RhythmTrak ZOOM MRT-3

オペレーションマニュアル



安全上のご注意／使用上のご注意

安全上のご注意

この取り扱い説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。
マークの意味はつぎの通りです。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。



警告

電源について

本製品は、消費電流が大きいため、ACアダプターのご使用をお薦めしますが、電池でお使いになる場合は、アルカリ電池の使用をお薦めします。

ACアダプターによる駆動

- ・ ACアダプターは、必ずDC9Vセンターマイナス300mA(ズームAD-0006)をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。
- ・ ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。
- ・ ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。

- ・ 長時間ご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

乾電池による駆動

- ・ 市販の1.5V単3乾電池×4本(アルカリ/マンガン)をお使いください。
- ・ MRT-3は充電機能を持っていません。乾電池の注意表示をよくみてご使用ください。
- ・ 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をMRT-3から取り出してください。
- ・ 万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。
- ・ ご使用の際は、必ず電池ボックスを閉めてください。



注意

使用環境について

MRT-3をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となります。必ずお避けください。

- ・ 温度が極端に高くなる所や低くなる所
- ・ 湿度が極端に高い所
- ・ 砂やほこりの多い所
- ・ 振動や衝撃の多い所



注意

取り扱いについて

- MRT-3は精密機器ですのでスイッチ類は足で踏むなど無理な力を加えないようにしてください。
- MRT-3に異物(硬貨や針金など)または液体(水、ジュースやアルコールなど)を入れないように注意してください。
- ケーブルを接続する際は、各機器の電源を必ずオフにしてから行ってください。
- 移動させる場合は一旦電源をオフにして必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。



注意

改造について

- ケースを開けたり改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。

- 改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねます。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

MRT-3は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。

しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周辺に設置すると影響がでる場合があります。

そのような場合は、MRT-3と影響する機器とを十分に距離をおいて設置してください。

デジタル制御の電子機器では、MRT-3も含めて、電波障害による誤動作やデータ破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

MRT-3が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼってふいてください。

クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにACアダプターまたは電池を抜いて電源を切り、他の接続されているケーブル類も外してください。

「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。

ご購入された店舗で必ず保証書の手続きをしてください。

万一、保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。

ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示が無い場合
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述が無い場合
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合
4. 指定業者以外での修理、改造が不適当なため生じた故障の場合
5. 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合
6. ご購入後に製品が受けた過度の衝撃による故障の場合
7. 本製品に起因しない事故や人災および天災による故障の場合
8. 消耗品（電池など）を交換する場合
9. 日本国外でご使用になる場合

保証期間が切れますと修理は有償となりますが、引き続き責任を持って製品の修理を行いません。

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

目次

安全上のご注意／使用上のご注意	2	ソングを作ろう	
はじめに	5	（ソングモード）	32
各部の名称	6	ソングとは	32
フロントパネル	6	ソングにパターンを記録する	33
リアパネル	6	ソングの途中でテンポを変化させる	36
接続しましょう	7	ソングのボリュームを変化させる	37
接続例 ①	7	ソング専用のキットを選択する	38
接続例 ②	7	ソングのメモリー残量を確認する	39
演奏前の準備	8	ソングをコピーする	39
電池で使うには	8	単体ソングを消去する	40
MRT-3で使用する用語について	9	ソングをすべて消去する	41
デモソングを聴いてみよう	11	その他の機能	42
パッドを叩いて演奏してみよう		フットスイッチを使ったリモート	
（マニュアル演奏）	12	コントロール	42
パターンを使ってみよう		外部機器と同期演奏させる	44
（パターンモード）	14	外部MIDI機器からMRT-3の音を	
パターンを再生する	14	鳴らす	46
パターン演奏のテンポを変える	15	パターン／ソングの演奏をスウィング	
パターンのリアルタイム録音	16	させる	47
パターンのステップ録音	19	リアルタイム録音時のプリカウントを	
録音済みユーザーパターンの分解能を		設定する	48
変える	21	MRT-3を工場出荷時の状態に	
ユーザーパターンの長さを変える	21	戻す	49
ユーザーパターンの拍子を変える	22	故障かな？と思われる前に	50
パターンをコピーする	23	製品仕様	51
単体ユーザーパターンを消去する	24	資料	52
ユーザーパターンをすべて消去		キットリスト	52
する	25	MIDI ノートナンバー対応表	53
自分自身のキットを作ろう		インストゥルメントリスト	54
（キットモード）	26	パターンリスト	56
ユーザーキットを編集する	26	MIDIインプリメンテーション	60
キットの各項目	28	MIDIインプリメンテーション	
キットをコピーする	30	チャート	61
		索引	62

はじめに

このたびは、ZOOM Micro RhythmTrak MRT-3（以下MRT-3と呼びます）をお買上げいただきましてありがとうございます。

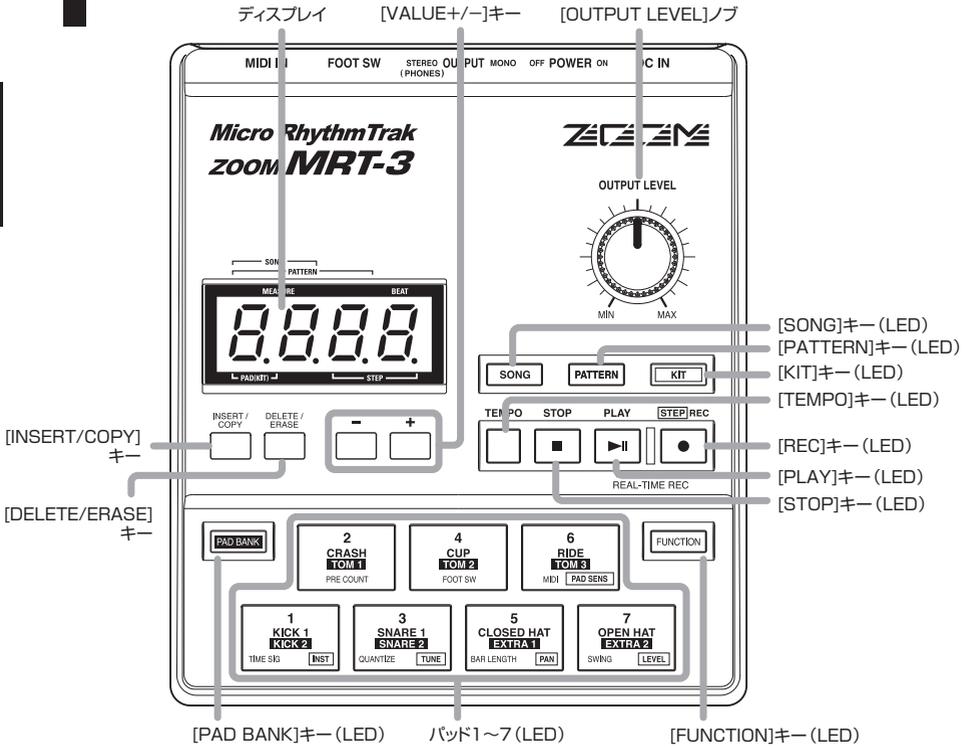
MRT-3は、以下のような特長を備えたリズムマシンです。

- コンパクトなサイズながら、199種類ものリアルなドラム／パーカッション音色を内蔵した本格派リズムマシンです。あらかじめ代表的なリズムがプログラムされたプリセットパターン×396と、お客様ご自身のパターンを書き込めるユーザーパターン×99が利用できます。
- 最大99のパターンを並べて、1曲分のリズム演奏（ソング）を作成できます。ソングは、メモリーの許す範囲で最大99曲まで作れます。
- 発音するときに光で知らせる自照式のパッドを採用。パターンやソングの再生中に、リズムを視覚的に確認できます。
- 内蔵のドラム／パーカッション音色から14の音色を選び、音色ごとにレベル、チューニング、パンを設定して、お客様ご自身のキットを作成可能。パターン／ソングの演奏を、よりイメージに近づけることができます。
- シンプルな操作を徹底追求。ドラムマシンを使った経験のない方でも、簡単にお使いいただけます。
- オプションのフットスイッチFS01を接続することで、パターンのスタート／ストップやテンポ変更を足元でコントロールできます。さらに、フットスイッチの操作でバスドラムの音色を鳴らしたり、オープンハイハットとクローズハイハットの音色を足元で切り替えることも可能です。
- MIDI IN端子を装備。MIDIクロックの送信機能を持つ外部MIDIシーケンサー／レコーダーとの同期演奏が可能。特にマルチトラックレコーディングスタジオZOOM MRS-4とはベストマッチ。レコーダーのオーディオトラックと連動する外部リズムトラックとして活用できます。また、外部MIDI機器からMRT-3の音を鳴らすことも可能です。

MRT-3の機能をフルにご活用いただくために、このマニュアルをよくお読みください。

各部の名称

フロントパネル



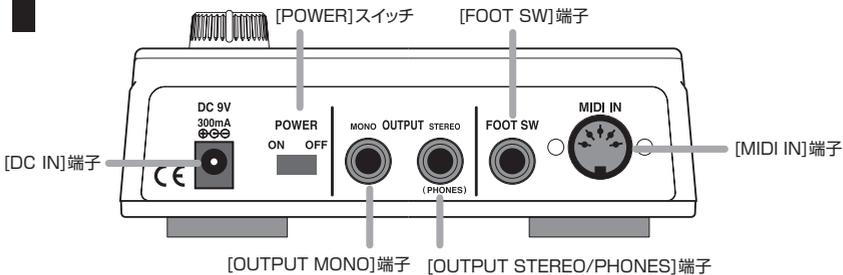
● NOTE ●

(LED) と表記されたキー/パッドは、自照式です。

■ HINT ■

このマニュアルでは、フロントパネルの操作子やリアパネルの端子類は、[]で括弧して表記します。

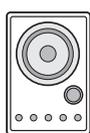
リアパネル



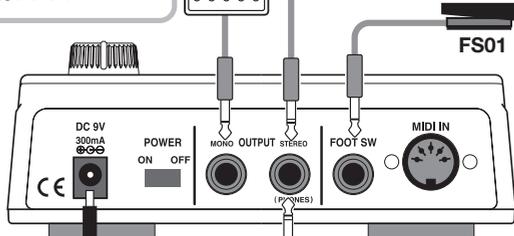
接続しましょう

接続例 ①

モノラルで再生する場合は、[OUTPUT MONO]端子にモノラルケーブルを接続します。

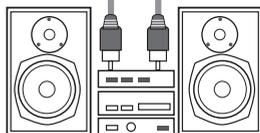


ヘッドフォンでモニターするには、[OUTPUT STEREO/PHONES]端子に接続します。



別売のフットスイッチFS01を[Foot SW]端子に接続すれば、足元でMRT-3のスタート/ストップを操作したり、音色を切り替えたりできます。

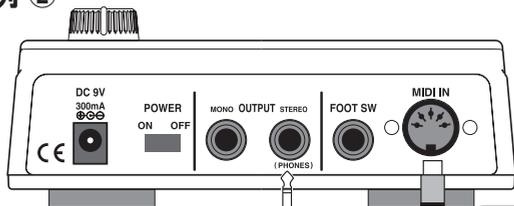
ACアダプター



モニターシステム

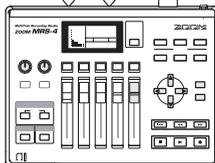
ステレオで再生する場合は、[OUTPUT STEREO/PHONES]端子にY字ケーブルのステレオプラグを接続し、反対側のプラグをオーディオシステムのL/Rチャンネルや、定位を左右に広げたミキサーの2チャンネルに接続します。

接続例 ②



MIDIクロックの送信機能を持つMIDIシーケンサー/レコーダーと同期演奏させたいときは、外部機器のMIDI OUT端子とMRT-3の[MIDI IN]端子をMIDIケーブルで接続します。

AUX IN MIDI OUT



MRS-4

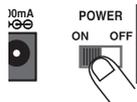
演奏前の準備

接続が済んだら、以下の手順で音量を調節します。

1. 再生装置の電源を切り、ボリュームを完全にしぼった状態で、各機器が正しく接続されていることを確認してください。

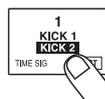
電源が入ったまま接続を行ったり音量が上がったまま電源を入れると、スピーカーを損傷することがありますので、ご注意ください。

2. MRT-3の電源を入れてください。
[POWER]スイッチをオンにします。



3. 再生装置の電源を入れ、ボリュームを中程度まで上げてください。

4. MRT-3のパッドを叩きながら[OUTPUT LEVEL]ノブを上げて、適切な音量が得られるように調節してください。



電池で使うには

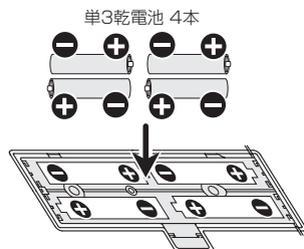
MRT-3は、乾電池で駆動することも可能です。次の手順に従って電池（本機には付属していません。別途お買い求めください）を挿入してください。

1. 本機を裏返しにして、電池ボタンを開けてください。



2. 電池ケースに単三乾電池（アルカリ乾電池をお薦めします）×4本を入れてください。

3. 電池ボタンを締めてください。



● NOTE ●

本機を乾電池で使用しているときに、ディスプレイ右側のドットが点滅する場合は、乾電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください。

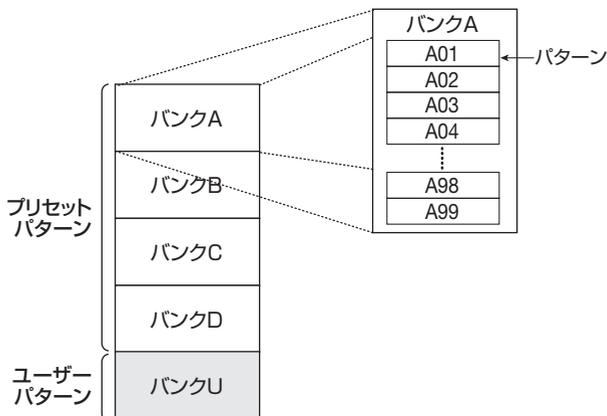
MRT-3で使用する用語について

ここでは、マニュアルで使用するMRT-3独自の用語について説明します。

■ パターン

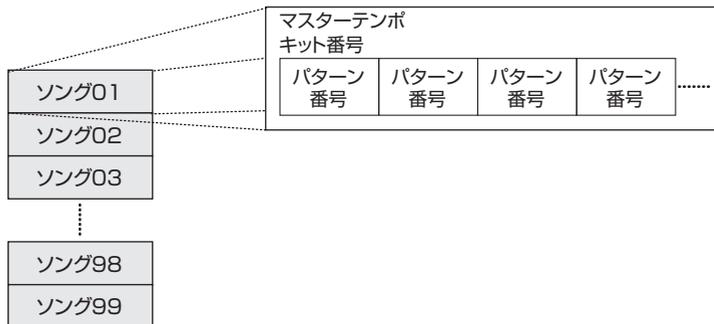
MRT-3の内蔵音色を使ったリズム演奏を“パターン”と呼びます。それぞれのパターンには、演奏情報以外にパターンの長さ、拍子、そのパターンで使用するキット(ドラム/パーカッション音色の組み合わせ)などの情報が含まれます。

それぞれのパターンはバンク(A～D、U)とパターン番号(01～99)で区別します。MRT-3では読み出し専用のプリセットパターン×396(A01～D99)と、読み書き可能なユーザーパターン×99(U01～U99)が利用できます。



■ ソング

パターンを1ステップずつ演奏順に並べたものを“ソング”と呼びます。1曲のソングでは、最大99ステップが利用できます。メモリーの許す範囲で最大99曲のソングを作ることができます。1曲のソングには、演奏するパターン番号以外に、ソング全体のテンポ(マスターテンポ)、曲中のテンポチェンジ情報/ボリュームチェンジ情報、ソング専用のキットなどの情報が含まれます。



■ キット

MRT-3では、内蔵されたドラム／パーカッション音から14の音色を選び、パッドやパターンを使って演奏できます。これらの音色を組み合わせ、パッドの感度や音色ごとのレベル／チューニングなどの要素を設定したものを“キット”と呼びます。

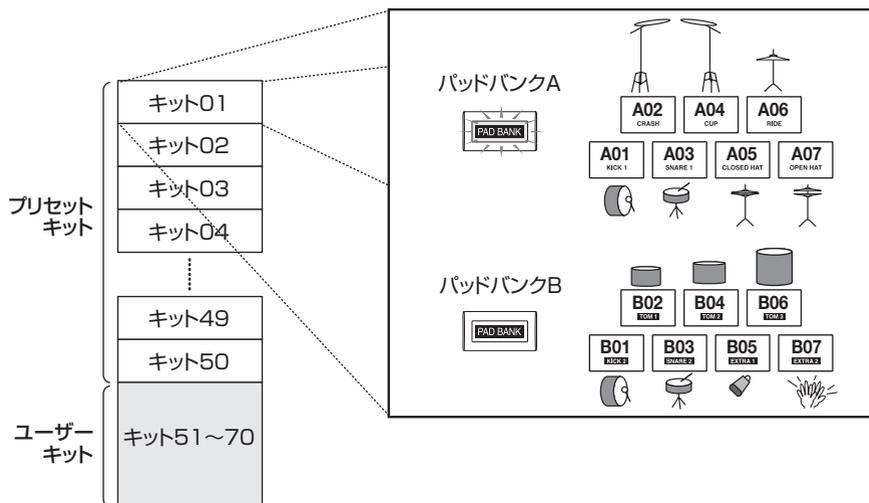
MRT-3では、70のキットが利用できます。キット番号01～50が読み取り専用のプリセットキット、51～70が読み書き可能なユーザーキットです。

■ パッド／パッドバンク

MRT-3では、パネル上のパッドを使って、現在選ばれているキットの音色を鳴らしたり、パターンにフレーズを記録できます。

1つのキットに含まれる14の音色を7つのパッドで演奏するために、パッドをAとBの2つのグループ（これを“パッドバンク”と呼びます）に分けて操作します。

A/Bのパッドバンクを切り替えるには、[PAD BANK]キーを使います。[PAD BANK]キーが消灯しているときはパッドバンクA、点灯しているときはパッドバンクBのパッドに割り当てられた音色を演奏できます。

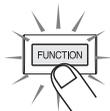


デモソングを聴いてみよう

MRT-3には、内蔵音源をフルに活用したデモソングが搭載されています。まずはこのデモソングを聴いてみましょう。

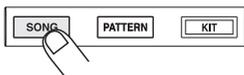
1. [FUNCTION]キーを押してください。

[FUNCTION]キーが点滅します。



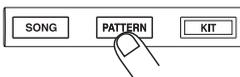
2. [SONG]キーを押してください。

ディスプレイに“dEMO”と表示され、デモソングが始まります。演奏に合わせてディスプレイとパッドでイルミネーションが展開されます。



デモソングは停止操作をしない限り、繰り返し演奏されます。

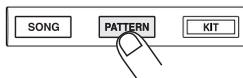
3. デモソングの演奏を止めるには、[PATTERN]キーまたは[SONG]キーを押してください。



パッドを叩いて演奏してみよう (マニュアル演奏)

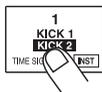
パネル上のパッドには、現在選ばれているキットに応じて、それぞれ異なる音色が割り当てられています。パッドを叩いてMRT-3のリアルな音色を楽しんでみましょう。

1. [PATTERN]キーを押してください。



[PATTERN]キーが点灯し、MRT-3がパターンモード(リズムパターンの再生や録音が行える状態)となります。

2. お好きなパッドを叩いてください。



叩いた瞬間にパッドが短い時間点灯し、そのパッドに割り当てられた音色が鳴ります。また、パッドを叩くときの強弱に応じて、音量が変化します。

3. パッドバンクを切り替えるには、[PAD BANK]キーを押してください。



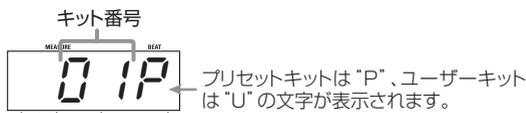
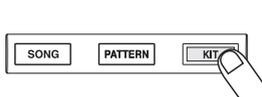
[PAD BANK]キーが点灯し、パッド1～7に割り当てられた音色が変化します。前の音色に戻すには、もう一度[PAD BANK]キーを押してキーを消灯させます。

HINT

[PAD BANK]キーが消灯しているときは、パッドバンクA、点灯しているときはパッドバンクBのパッドに割り当てられた音色を演奏できます。

4. パッドで演奏するキットを切り替えたいときは、[KIT]キーを押してください。

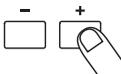
[KIT]キーが点灯し、MRT-3がキットモードに入ります。このモードでは、パッドやパターンを使って演奏するキットを選択できます。ディスプレイには、現在選ばれているキット番号が表示されます。



NOTE

キットを変更できるのはユーザーパターンのみです。プリセットパターンのキットは変更できません。

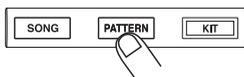
5. [VALUE+/-]キーを使ってキット番号を選んでください。



01P～50P、51U～70Uの順番にキット番号が切り替わります。

同じようにパッドを叩いたり、パッドバンクを切り替えたりして、新しく選んだキットにどんな音色が含まれているかを試してみましょう。

6. キットを選んだら、[PATTERN]キーを押してパターンモードに戻ってください。



パターンを使ってみよう (パターンモード)

ここでは、MRT-3のパターンを再生したり録音したりする、パターンモードの操作について説明します。

パターンを再生する

MRT-3では、読み出し専用のプリセットパターン×396と読み書き可能なユーザーパターン×99が利用できます。ここでは、パターンを選んで再生する方法を説明します。

● NOTE ●

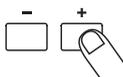
工場出荷時には、すべてのユーザーパターンが空になっています。

1. [PATTERN]キーを押してください。

MRT-3がパターンモードに入り、[PATTERN]キーが点灯します。ディスプレイには、現在選ばれているパターンのバンクとパターン番号が表示されます。



2. [VALUE+/-]キーで再生したいパターン番号を選んでください。



パターンモードでは、[VALUE +/-]キーを使ってパターンを選びます。例えば[VALUE +]キーを繰り返し押すと、U01...U99 → A01...A99 → B01...B99 → C01...C99 → D01...D99 → U01の順に、パターンが切り替わります。

3. バンクを直接切り替えたいときは、[FUNCTION]キーを押してから[VALUE +/-]キーを押してください。

パターン番号はそのまま、バンクのみが切り替わります。



■ HINT ■

[FUNCTION]キーはMRT-3の各種設定を行うためのキーです。このキーの機能は、現在選ばれているモードや、[FUNCTION]キーと組み合わせるパッド/キーに応じて変化します。

4. [PLAY]キーを押してください。

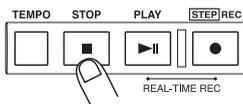
[PLAY]キーが点灯し、パターンが繰り返し再生されます。パターンの再生中には、[TEMPO]キーがテンポに合わせて点滅します。また、ディスプレイにパターンの現在位置 (小節数 / 拍数) が表示されます。



HINT

- ・ パターンの再生中にも、パッドを使ったマニュアル演奏が行えます。
- ・ 再生中にパターンのバンクや番号を切り替えることも可能です。この場合は、切り替えた瞬間から新しいパターンが始まります。

5. パターンを停止したいときは、[STOP]キーを押してください。



[STOP]キーの代わりに[PLAY]キーを押すと、ポーズ (一時停止) 状態となり、[PLAY]キーが点滅します。この状態からもう一度[PLAY]キーを押すと、止めた位置から再開します。

パターン演奏のテンポを変える

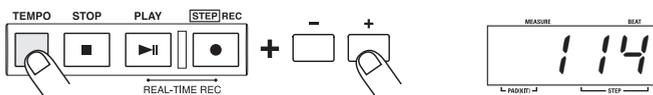
パターンモードでパターンを演奏するときのテンポは、40～250BPM (BPM = テンポを1分間に演奏される4分音符の数で表した値) の範囲で調節できます。

1. [TEMPO]キーを押し、そのまま押し続けてください。

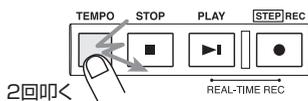
[TEMPO]キーが点灯し、現在のテンポの値がディスプレイに表示されます。



2. [TEMPO]キーを押したまま、[VALUE+/-]キーを使ってテンポを調節してください。



- テンポの設定ができれば、[TEMPO]キーから手を離してください。
- テンポをマニュアル操作で指定したいときは、[TEMPO]キーを好きなテンポで2回以上叩いてください(タップテンポ機能)。



パターンの停止中または再生中に[TEMPO]キーを続けて叩くと、最後の2回の間隔を4分音符としたテンポが設定されます。既存の曲に合わせたパターンを作りたいときは、その曲に合わせて[TEMPO]キーを叩くだけで、簡単にテンポが設定できます。

● NOTE ●

パターンモードで設定したテンポは、すべてのパターンに共通です。パターンごとに変えることはできません。

パターンのリアルタイム録音

MRT-3には、自分自身のパターンを録音できる99のユーザーパターンが用意されています。パターンを作る方法には、実際にパッドを叩いて演奏して録音する“リアルタイム録音”と、演奏を止めた状態で1音1音を入力していく“ステップ録音”の2つがあります。ここでは、“リアルタイム録音”の手順を説明します。

- パターンモードで空のユーザーパターン(U01～U99)を選んでください。また、必要に応じてキットを選択してください。

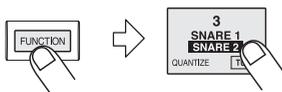
空のユーザーパターンを選ぶと、ディスプレイの右端に“E”と表示されます。



■ Hint ■

- パターンモードでユーザーパターンが選ばれているときにキットを変更すると、最後に選択したキットがそのユーザーパターンに記憶されます。
- すでに録音されているユーザーパターンを消去し、空のパターンに戻すことも可能です。24ページをご参照ください。

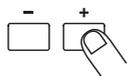
- [FUNCTION]キー→パッド3 (QUANTIZE) の順に押してください。



ディスプレイに、現在のクオンタイズの設定値が表示されます。

“クオンタイズ”とは、どれだけ細かい音符で録音するかを決める要素です。クオンタイズを録音したいパターンの最小単位となる音符に合わせておけば、正確なタイミングで録音することができます。

3. [VALUE+/-]キーを使ってクオンタイズの値(録音するときの分解能)を次の中から選んでください。



4……4分音符	24……16分3連音符
8……8分音符	32……32分音符
12……8分3連音符	48……32分3連音符
16……16分音符(初期設定値)	Hi……1チック(4分音符の1/96)

ここで選択した音符を最小単位として、リアルタイム録音が行われます。

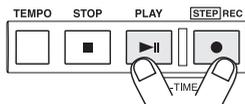
4. もう一度[FUNCTION]キーを押してください。



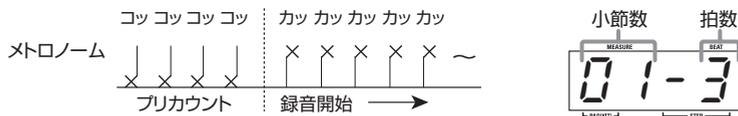
HINT

- クオンタイズの値は、すべてのパターンで共通です。同じ分解能で別のパターンを録音するときは、クオンタイズを設定し直す必要はありません。
- 録音が終わった後でクオンタイズの値を変えれば、同じパターンに異なる分解能で追加録音できます。例えばバスドラムとスネアドラムを16分音符単位で録音した後で、ハイハットを32分音符単位で加えることができます。
- 必要ならば、既に録音したフレーズの分解能を後から変更することも可能です。詳しくは「録音済みユーザーパターンの分解能を変える」をご参照ください。

5. [REC]キーを押しながら[PLAY]キーを押してください。



[REC]キーと[PLAY]キーが点灯します。また、テンポに合わせて[TEMPO]キーが点滅し、“コッ・コッ・コッ・コッ”とプリカウントが1小節鳴った後で、録音が始まります。パターンの録音中には、“カッ・カッ・カッ・カッ”とメトロノーム音が鳴り、ディスプレイにパターンの現在位置(小節数/拍数)が表示されます。



HINT

- 特に指定しない限り、何も録音されていない空のパターンの拍子と長さは、直前に選んだ録音済みパターンと同じになります。ただし、パターンの拍子や小節数を変更することも可能です(→P.21~22)。
- 必要ならば、プリカウントをオフにしたり、プリカウントの長さを変更したりできます(→P.48)。

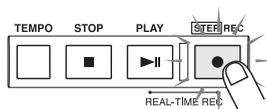
6. 必要に応じてテンポを調節してください。

パターンのテンポはいつでも変更できます。難しいフレーズを録音したいときは、一時的にテンポを落とすといいでしょ。

7. メトロノーム音に合わせて、パッドを叩いてください。

叩いたパッドの音色が鳴り、クオンタイズの値に従って演奏が録音されます。パターンの現在位置はディスプレイで確認できます。パターンの最後まで到達すると先頭に戻って録音を続けますので、何度でも追加録音が行えます(必要ならば、[PAD BANK]キーを使ってパッドバンクを切り替えてください)。

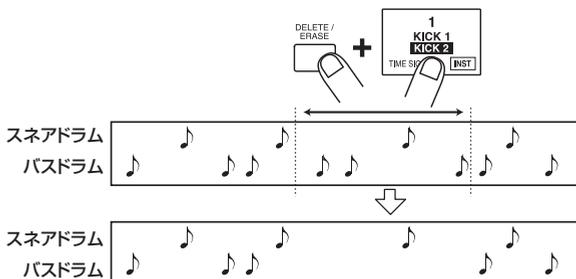
8. パターンの録音を一時的に解除したいときは、リアルタイム録音中に[REC]キーを押してください。



[REC]キーが点滅に変わります。この状態でパッドを叩いても、音は鳴りますが何も録音されません。フレーズや音色を確認したいときに便利です。録音状態に戻すには、もう一度[REC]キーを押します。

9. 特定のパッドの演奏を消したい場合は、[DELETE/ERASE]キーを押しながらそのパッドを押さえてください。

[DELETE/ERASE]キーとパッドを押さえている間のみ、そのパッドの音がパターンから消去されます。



10. 録音が終了したら[STOP]キーを押してください。

録音が停止します。

● NOTE ●

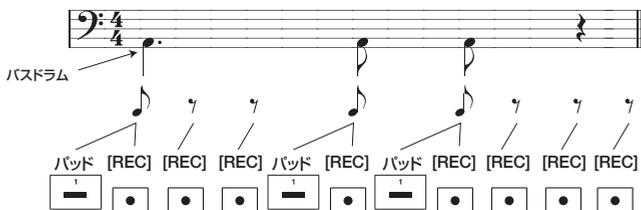
- ・ MIDIクロックの受信がオンになっているときは、リアルタイム録音できません。詳しくは44ページをご参照ください。
- ・ MRT-3の空きメモリが不足するとディスプレイに“FULL”と表示され、これ以上は録音できなくなります。不要なパターンを消去してください。

パターンのステップ録音

ステップ録音とは、MRT-3を停止させた状態で1音1音を入力していく方法です。パッドを叩くのが苦手という方でも、ステップ録音を使えば複雑なドラムパターンが簡単に入力できます。また、人間ではとても演奏できないような複雑なパターンも作成できます。

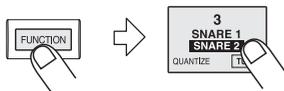
ステップ録音を行うときは、まず最小単位となる音符を選び、1ステップごとにパッド(音符)、または[REC]キー(休符)を押してパターンを作っていきます。

例えば次のようなパターンのバスドラムをステップ録音する場合は、最小単位として8分音符を選び、次の順番で入力します。



パターンの最後まで進んだら自動的に先頭に戻りますので、他の楽器音についても同じように入力していき、パターンを完成させます。また、同時に2つのパッドを叩けば、2つの音色を同じ位置に入力することも可能です。

1. パターンモードでユーザーパターンを選んでください。
2. 必要に応じて使用するキットを選んでください。
キットの選択方法は、マニュアル演奏時と同じです(→P12)。
3. [FUNCTION]キー→パッド3 (QUANTIZE)の順に押してください。

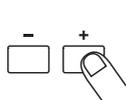


ディスプレイに現在のクオンタイズの設定値が表示されます。ステップ入力時の最小単位となる音符は、この値で決定されます。

● NOTE ●

クオンタイズの値はすべてのパターンで共通になります。

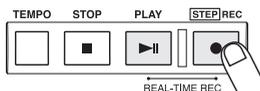
4. [VALUE+/-]キーを使ってステップ録音の最小単位となる音符を選んでください。



4 …… 4分音符	24 …… 16分3連音符
8 …… 8分音符	32 …… 32分音符
12 …… 8分3連音符	48 …… 32分3連音符
16 …… 16分音符(初期設定値)	Hi …… 1チック(4分音符の1/96)

5. [REC]キーを押してください。

[REC]キーと[PLAY]キーが点灯し、ステップ録音の待機状態になったことを示します。

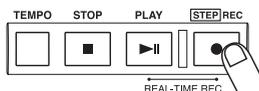


6. 音符を入力したいときは、その音符の音色に相当するパッドを押してください。



例えばパッド1を叩くと、バスドラムの音符が入力されます(パッド1が点灯します)。このとき、叩いたときの強さも一緒に記録されます。[REC]キーを押すと、最少単位の音符分だけ進みます。パターンの現在位置は、ディスプレイで確認できます(小節/拍単位)。

7. 休符を入力したいときは、[REC]キーを押してください。



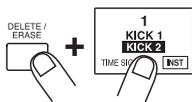
音符は何も入力されずに、最小単位の音符分だけ進みます。また、[REC]キーを押している間、現在1拍の中のどの位置にいるかをチック数で表示します。

■ **HINT** ■

- ・ [PLAY]キーを押すと、押している間、現在位置をチック数で表示します。
- ・ MRT-3の空きメモリが不足するとディスプレイに“FULL”と表示され、これ以上は録音できなくなります。不要なパターンを消去してください。

パターンの最後まで進んだら、自動的に先頭に戻りますので、引き続き別の音色を入力できます(必要ならば、[PAD BANK]キーを使ってパッドバンクを切り替えてください)。

8. 録音した音を消したいときは、[REC]キーを使ってその位置まで進み、[DELETE/ERASE]キーを押しながら該当するパッドを押してください。



[REC]キーで位置を進めていくと、その位置に入力されているパッドが点灯します。[DELETE/ERASE]キーを押しながら点灯しているパッドを押すと、パッドが消灯し、その位置にあった音が消去されます。

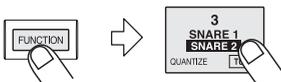
9. 録音が終了したら、[STOP]キーを押してください。

[REC]キーが消灯し、ステップ録音を終了します。

録音済みユーザーパターンの分解能を変える

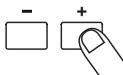
ユーザーパターンに録音された演奏情報の分解能を、後から変更することも可能です。例えば、クオンタイズなしで録音したユーザーパターンの分解能を変更し、16分音符でタイミングを揃えることができます。

1. パターンモードで分解能を変更したいユーザーパターンを選んでください。
2. [FUNCTION]キー→パッド3 (QUANTIZE) の順に押してください。

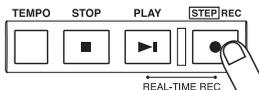


クオンタイズの現在の設定値が表示されます。

3. [VALUE +/-]キーを使って、新しいクオンタイズの値を選んでください。



4. [REC]キーを押してください。



録音済みのユーザーパターンの分解能が変更され、パターンモードに戻ります。

● NOTE ●

手順3で、クオンタイズの値をパターンを録音したときよりも細かく設定した場合、録音済みのパターンは何も変化しません。

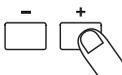
ユーザーパターンの長さを変える

空のユーザーパターン、または録音済みのユーザーパターンの長さ (小節数) を変更します。

1. パターンモードで長さを変更したいユーザーパターンを選んでください。
2. [FUNCTION]キー→パッド5 (BAR LENGTH) の順に押してください。
手順1で選択したユーザーパターンの小節数が表示されます。



3. [VALUE +/-]キーを使って、新しい小節数を設定してください。



小節数は1～99小節の範囲で設定できます。

4. [FUNCTION]キーを押してください。



パターンの長さを変更されます。録音済みのパターンを短くした場合、はみ出た部分の演奏情報がすべて削除されます。また、録音済みのパターンを長くした場合は、従来のパターンの後ろに空白の小節が追加されます。

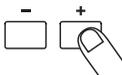
ユーザーパターンの拍子を変える

空のユーザーパターンの拍子を変更します。

1. パターンモードで拍子を変更したいユーザーパターンを選んでください。
2. [FUNCTION]キー→パッド1 (TIME SIG)の順に押してください。
手順1で選択したユーザーパターンの拍子が表示されます。



3. [VALUE +/-]キーを使って、新しい拍子を設定してください。



拍子は2(2/4)、3(3/4)、4(4/4)5、(5/4)、6(6/4)、7(7/4)の中から選択できます。

4. [FUNCTION]キーを押してください。



パターンの拍子が変更されます。

パターンをコピーする

現在選ばれているパターン（プリセットパターン／ユーザーパターン）は、ユーザーパターンの任意の番号にコピーできます。既存のパターンの一部を変更して新しいパターンを作ったり、フィルインのフレーズを加えたいときに便利な機能です。

1. パターンモードで、コピー元となるパターンを選んでください。

コピー元は、ユーザーパターンまたはプリセットパターンのどちらでも選べます。ただし、空のユーザーパターン（ディスプレイの右端に“E”と表示されます）をコピー元にはできません。

コピー元のパターン番号



2. [INSERT/COPY]キーを押してください。

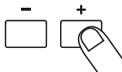
[INSERT/COPY]キーが点滅し、現在のパターンがコピー元として選ばれます。コピー元がユーザーパターンの場合、ディスプレイには“CoPY”の文字が点滅表示されます。



コピー元がプリセットパターンのときは、コピー元と同じ番号のユーザーパターンが選ばれ、点滅します。



3. [VALUE+/-]キーでコピー先のユーザーパターン（U01～U99）を選んでください。



コピー先として選択できるのはユーザーパターンのみです。

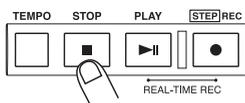
● NOTE ●

- ・ コピーを実行すると、コピー先のパターン番号にそれまで入っていたパターンは消えてしまいます。コピー先のパターンを消してもいいかどうかを必ず確認してください。
- ・ コピー元がユーザーパターンの場合、操作2の後で同じパターンが最初に選ばれています。ただし、コピー元と同じパターンにコピーすることはできません。

4. コピーを実行するには[INSERT/COPY]キー、取り消すには[STOP]キーを押してください。



コピーを実行したときは、コピー先のパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。



コピーを取り消したときは、コピー元のパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。

単体ユーザーパターンを消去する

不要となった単体のユーザーパターンは、中身を消去して空の状態に戻すことができます。この機能は、新規のユーザーパターンを作りたいときや、メモリーの空き容量を増やしたいときに利用します。

● NOTE ●

消去したユーザーパターンは、二度と復帰できなくなります。実行する前に消してもいいかどうかを必ず確認してください。

1. パターンモードで消去したいユーザーパターン (U01 ~ U99) を選んでください。
ディスプレイにパターンの番号が表示されます。



2. [DELETE/ERASE]キーを押してください。

[DELETE/ERASE]キーが点滅し、ディスプレイにパターン番号と“dEL”の文字が交互に表示されます。



3. 消去を実行する場合は[DELETE/ERASE]キーを、取り消すなら[STOP]キーを押してください。



消去を実行したときは、空のユーザーパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。このとき、ディスプレイに“E”と表示されます。



消去を取り消したときは、元のユーザーパターンが選ばれた状態でパターンモードに戻ります。

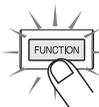
ユーザーパターンをすべて消去する

必要ならば、ユーザーバンクのパターンをすべて消去することも可能です。

● NOTE ●

消去したユーザーパターンは、二度と復帰できなくなります。実行する前に消してもいいかどうかを必ず確認してください。

1. パターンモードで演奏が停止しているときに、[FUNCTION]キーを押してください。
[FUNCTION]キーが点滅します。



2. [DELETE/ERASE]キーを押してください。
ディスプレイに“dEL”と“ALL”の文字が交互に表示されます。



3. 消去を実行するには[DELETE/ERASE]キー、取り消すには[STOP]キーを押してください。



[DELETE/ERASE]キーを押すと、ユーザーパターンU01～U99がすべて消去され、空の状態に戻ります。

自分自身のキットを作ろう (キットモード)

ここでは、ユーザーキットを編集したり、プリセット／ユーザーキットを任意のユーザーキットにコピーするキットモードの操作について説明します。

ユーザーキットを編集する

キットモードでは、ユーザーキットを選び、パッドごとに使用する音色、レベル、チューニングといった要素を編集して、自分自身のユーザーキットを作れます。

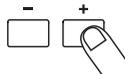
1. [KIT]キーを押してください。

[KIT]キーが点灯し、MRT-3がキットモードに入ります。キットモードでは、パターンやソングで使用するキットを選択したり、ユーザーキットを作成したりできます。

ディスプレイには、現在選ばれているキット番号が表示されます。

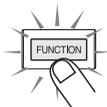


2. [VALUE +/-]キーを使って、編集するユーザーキット(キット番号=51~70)を選んでください。

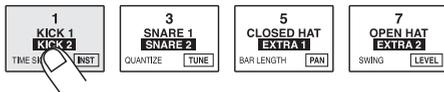


3. [FUNCTION]キーを押してください。

[FUNCTION]キーが点滅します。



4. パッド1、3~7を押して、変更したい項目を選んでください。



選択したパッドが点灯し、そのパッドが対応する項目がエディット対象として選ばれます(ディスプレイの表示は、項目に応じて変わります)。各パッドが対応する項目は、次の通りです。

■パッド(楽器音)単位の設定項目

- パッド1 (PAD INST) …… パッドごとに使用する楽器音を選びます。
- パッド3 (INST TUNE) …… 楽器音ごとのピッチを設定します。
- パッド5 (INST PAN) …… 楽器音ごとのパン(ステレオ再生時の左右の位置)を設定します。
- パッド7 (INST LEVEL) …… 楽器音ごとの音量を設定します。

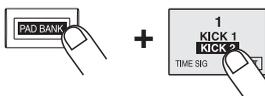
■キット全体に共通する設定項目

- パッド4 (KIT LEVEL) …… キット全体の音量を設定します。
- パッド6 (PAD SENS) …… キット全体に共通する、パッドを叩くときの感度を設定します。

■ HINT ■

各項目についての詳しい説明は、「キットの各項目」をご参照ください。

5. 手順4でパッド単位の設定項目(パッド1、3、5、7)を選んだ場合は、続いて[PAD BANK]キーとパッドを使って、エディットの対象となるパッドを選んでください。



現在選ばれているパッドは、[PAD BANK]キーの点灯/消灯と、ディスプレイ左端に表示されるパッド番号で確認できます。

パッド番号 現在選ばれている項目の設定値



6. [VALUE +/-]キーを使って、手順4で選択した項目の設定値を変更してください。
7. 手順4でパッド単位の設定項目を選んだ場合は、手順5～6を繰り返し、他のパッドに対しても同じように操作してください。
8. [FUNCTION]キーをもう一度押してください。



キットモードに戻ります。必要ならば手順3～8を繰り返し、他の項目も同じ要領で設定してください。

キットの各項目

ここでは、キットに含まれる各項目の内容とその設定範囲について説明します。

パッド1：PAD INST(パッドインスタ)

各パッドで使用する楽器音を選びます。この項目を選ぶと、音色のおおまかな分類を表すカテゴリ番号と、個々の楽器音を表すインストゥルメント番号が表示されます。



[VALUE +/-]キーを押すたびに、インストゥルメント番号が1ずつ上下していきます。そのカテゴリで最大または最小のインストゥルメント番号に到達すると、次のカテゴリへと移ります。なお、インストゥルメント番号の最大値は、カテゴリに応じて異なります。カテゴリとインストゥルメントの種類については、巻末の資料をご参照ください。

Hint

パッドバンクAのパッド5とパッド7は特殊なパッドで、これら2つのパッドに割り当てた音色は同時には発音しません(片方が鳴っているときにもう一方を鳴らすと、前の音色が消えます)。ハイハットのオープン/クローズのように、同時に鳴らしたくない音色を割り当てるといいでしょう。

パッド3：INST TUNE(インストチューン)

各パッドで再生する楽器音のチューニングを設定します。ゼロを基準に、±7.9半音の範囲を0.1半音単位で設定できます。



パッド5：INST PAN(インストパン)

各パッドで再生する楽器音のパン(ステレオ再生時の左右の位置)を設定します。設定範囲はL63(左端)～C(中央)～R63(右端)です。



パッド7 : INST LEVEL (インストレベル)

各パッドで再生する楽器音の音量を設定します。設定範囲は1～15です。



パッド4 : KIT LEVEL (キットレベル)

キット全体の音量を設定します。この項目は、インストレベルで設定したパッドごとの音量に対して、相対的に働きます。設定範囲は1～15です。



パッド6 : PAD SENS (パッドセンス)

キット全体に共通する、パッドを叩くときの感度を設定します。選択可能な設定値は、次の通りです。

- SoFt (Fixed Soft) …… 叩く強さに関係なく、小音量となります。
- MEd (Fixed Medium) …… 叩く強さに関係なく、中程度の音量になります。
- Loud (Fixed Loud) …… 叩く強さに関係なく、大音量になります。
- Lite (Light) …… 弱く叩いても大きな音量が得られる、最も感度の高い設定です。
- norM (Normal) …… 中程度の感度です。
- HARd (Hard) …… 感度の低い設定です。
- EHrd (Extra Hard) …… 最も感度の低い設定です。かなり強く叩かなければ、大きな音が出ません。



キットをコピーする

MRT-3のキット(プリセットまたはユーザーキット)を、ユーザーキットの任意の番号(51~70)にコピーできます。既存のキットの一部を変更して利用したいときなどに便利です。

1. **キットモードで、コピー元となるキットを選んでください。**
コピー元は、ユーザーキットまたはプリセットキットのどちらでも選べます。

コピー元のキット番号



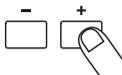
2. **[INSERT/COPY]キーを押してください。**
[INSERT/COPY]キーが点滅し、現在のキットがコピー元として選ばれます。コピー元がユーザーキットの場合、ディスプレイには「CoPy」の文字が点滅表示されます。



コピー元がプリセットキットのときは、初期設定のコピー先として「51U」が選ばれ、点滅します。



3. **[VALUE+/-]キーでコピー先のユーザーキット(U51~U70)を選んでください。**
コピー先として選択できるのはユーザーキットのみです。



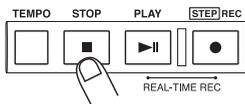
● NOTE ●

- ・ コピーを実行すると、コピー先のキットは消えてしまいます。コピー先のキットを消してもいいかどうかを必ず確認してください。
- ・ コピー元がユーザーキットの場合、操作2の後で同じキットが最初に選ばれています。ただし、コピー元と同じキットにコピーすることはできません。

4. コピーを実行するには[INSERT/COPY]キー、取り消すには[STOP]キーを押してください。



コピーを実行したときは、コピー先のキットが選ばれた状態でキットモードに戻ります。



コピーを取り消したときは、コピー元のキットが選ばれた状態でキットモードに戻ります。

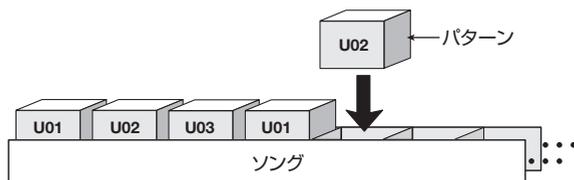
ソングを作ろう (ソングモード)

ここでは、ユーザーパターンを演奏順に並べて、ソングを作成するソングモードについて説明します。

ソングとは

ソングは、プリセットパターンまたはユーザーパターンを演奏順に並べたものです。1つのソングの中にパターンを並べるための箱(これを“ステップ”と呼びます)があり、その1つ1つにパターンを入れていくと考えるとわかりやすいでしょう。

1曲のソングでは最大99のステップが利用でき、MRT-3全体では最大99曲のソングを作ることができます(実際に作成できるステップ数やソング数は、ユーザーパターンの音数やソングのステップ数などの要素に応じて変化します)。



なお、必ずしもステップ数=小節数ではないことにご注意ください。1つ1つのステップの長さは、中に入れるパターンに応じて変わります。例えば上図のソングでU01のパターンの長さが2小節、U02とU03のパターンの長さが1小節だった場合、ソングは次のような構成になります。

Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5
U01	U02	U03	U01	U02

ソングには、演奏するパターンの番号以外に、以下の情報を書き込むことができます。

ソング全体に共通する設定項目

- ソング専用キット…………… そのソング全体で使用するキットの番号です。
- マスターテンポ…………… ソング全体に共通するテンポ情報です。

パターン単位の設定項目

- テンポチェンジ…………… ソングの途中でテンポを変更するための情報です。
- ボリュームチェンジ…………… ソングの途中でボリュームを変更するための情報です。

● NOTE ●

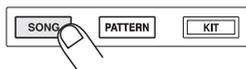
ソング専用キットは指定せずに、パターンごとに記憶されているキットを利用することも可能です。この場合はパターンが変わるのに応じてキットも切り替わります。

ソングにパターンを記録する

ソングにパターンを並べて、1曲分の演奏を作ってみましょう。

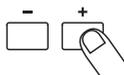
1. [SONG]キーを押してください。

MRT-3がソングモードに入り、[SONG]キーが点灯します。ディスプレイには、現在選択されているソング番号が表示されます。



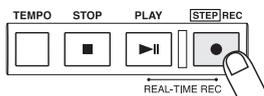
2. [VALUE+/-]キーを使って空のソング番号を選んでください。

空のソングが選ばれた場合、ディスプレイの右端に“E”の文字が表示されます。



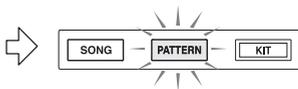
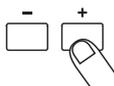
3. [REC]キーを押してください。

[REC]キーが点灯します。これはMRT-3がソングを記録できる状態になったことを示しています。このとき、ディスプレイの下2桁にステップ番号が表示されます。



4. [VALUE+/-]キーを使って、最初のステップに割り当てるパターンを選んでください。

[VALUE+/-]キーを押すと、[PATTERN]キーが点滅してディスプレイにパターンのバンクと番号が表示されます。



バンク/パターン番号

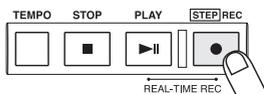


HINT

- ・ [FUNCTION]キーを押してから[VALUE+/-]キーを押し、パターンのバンクを直接切り替えることも可能です。
- ・ [PLAY]キーを押せば、現在選ばれているパターンを試聴できます。

5. 最初のステップにパターンを割り当てたら、[REC]キーを押して次のステップに進んでください。

ディスプレイの下2桁が2つ目のステップに進み、上2桁にソングの終わりを表す“EE”の記号が表示されます。この状態で、2つ目のステップのパターンが選択できます。



ソングの最後のステップに、この表示が現れます



HINT

- ・ [SONG]キーを押しながら[VALUE +/-]キーを押すことで、ステップを前後に移動することも可能です。
- ・ MRT-3の空きメモリが不足するとディスプレイに“FULL”と表示され、これ以上は録音できなくなります。不要なソングを消去してください。

6. [VALUE +/-]キーを使って、2番目のステップに割り当てるパターンを選んでください。

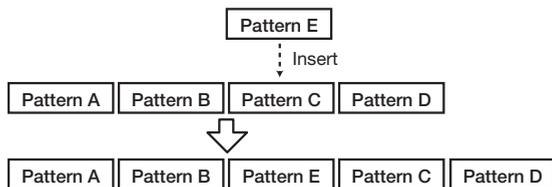
7. 同じ要領で操作5~6を繰り返し、最後のステップまでパターンを指定してください。

1曲のソングには、最大99ステップ(ステップ01~99)のパターンが書き込めます。

8. ソングの途中にステップを追加したいときは、挿入したい位置のステップを選び、[INSERT/COPY]キーを押してください。



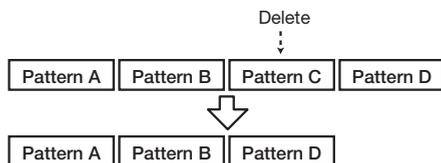
現在選択されているステップに複製がその位置に挿入され、それ以降のステップが1つずつ後ろにずれます。必要に応じて、[VALUE +/-]キーを使って挿入されたステップのパターンを選んでください。



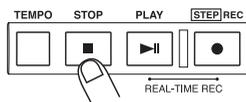
9. ソングの途中でステップを削除したいときは、削除したいステップを呼び出し、[DELETE/ERASE]キーを押してください。



現在選択されているステップが削除され、それ以降のステップが1つずつ前にずれます。



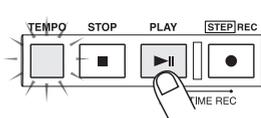
10. 1曲分のソングが完成したら[STOP]キーを押してください。



[REC]キーが消灯し、ソングの記録を終了します。このとき、ソングの位置は1ステップ目に戻ります。

11. ソングを聴くには、[PLAY]キーを押してください。

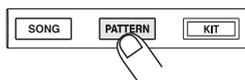
[PLAY]キーが点灯し、ソングが再生されます。また、[TEMPO]キーがテンポに合わせて点滅します。ソングの再生中には、ディスプレイの上2桁にソング番号、下2桁に現在のステップ番号が表示されます。



ソング番号 ステップ番号



また、ソングの再生中に[PATTERN]キーを押すと、キーを押している間ディスプレイの表示が先頭からの小節数に変わります。



ソング先頭からの小節数



HINT

- ・再生中にソングを切り替えたときは、すぐに次のソングに切り替わります。
- ・ソングの途中で休止を入れるには、空のパターンをステップに書き込んでください。

12. [STOP]キーを押してソング再生を停止してください。



ソングが先頭の位置に戻ります。再度[PLAY]キーを押すとソングの先頭から再生されます。

HINT

- ・[STOP]キーの代わりに[PLAY]キーを押すと、[PLAY]キーが点滅し、ポーズ(一時停止)状態となります。この状態から再生を開始すると止まった位置からスタートします。

- ・ソングの再生中にもパッドを使ったマニュアル演奏が行えます。

13. ソングを途中から再生したいときは、ソングが停止した状態で[SONG]キーを押しながら[VALUE +/−]キーを押してください。



[VALUE +]キーを押すとディスプレイに表示されたステップ番号が1つ進み、[VALUE −]キーを押すと1つ前に戻ります。この状態から[PLAY]キーを押せば、選択したステップからソングの再生が始まります。

14. ソングのテンポを変更したいときは、[TEMPO]キーを押したまま[VALUE +/−]キーを使ってテンポの値(BPM)を調節してください。

パターンモードと同じように、[TEMPO]キーを2回以上叩いて、テンポを指定することも可能です。

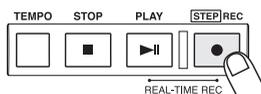
HINT

MRT-3は、ソングごとのテンポ(これを“マスターテンポ”と呼びます)を自動的に記憶しています。ソングを切り替えると、そのソングで最後に設定したテンポが呼び出されます。

ソングの途中でテンポを変化させる

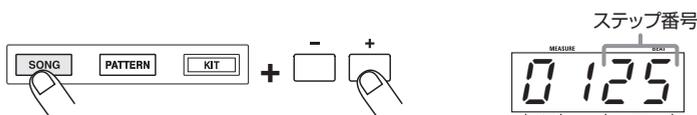
ここでは、すでにパターンを書き込んだソングに対し、曲の途中でテンポを変化させる方法を説明します。

1. ソングモードでテンポを変化させたいソングを選んでください。
2. [REC]キーを押してください。
[REC]キーが点灯し、ソングの編集が可能となります。



3. [SONG]キーを押しながら[VALUE +/−]キーを押して、編集したいステップを選んでください。

ディスプレイの下2桁にステップ番号が表示されます。

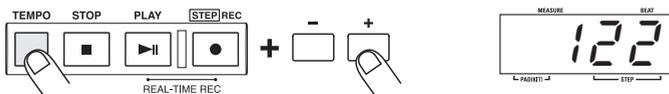


4. [TEMPO]キーを押し、そのまま押し続けてください。

[TEMPO]キーを押している間、そのステップに記録されたテンポチェンジ情報の値が表示されます。そのステップにテンポチェンジ情報が記録されていない場合は、“--”と表示されます。



5. [TEMPO]キーを押したまま、[VALUE + / -]キーを使ってテンポの値(40~250)を設定してください。



6. 必要ならば、その他のステップに対しても、操作3~5を繰り返してください。

7. テンポチェンジの入力を終了するには、[STOP]キーを押してください。

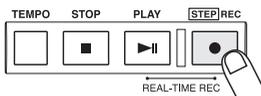
ソングのボリュームを変化させる

ここでは、すでにパターンを書き込んだソングに対し、曲の途中でパターンのボリュームを変化させる方法を説明します。

1. ソングモードでボリュームを変化させたいソングを選んでください。

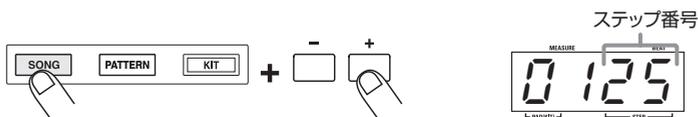
2. [REC]キーを押してください。

[REC]キーが点灯し、ソングの編集が可能となります。



3. [SONG]キーを押しながら[VALUE + / -]キーを押して、編集したいステップを選んでください。

ディスプレイの下2桁にステップ番号が表示されます。



4. [FUNCTION]キーを押し、そのまま押し続けてください。

[FUNCTION]キーを押している間、そのステップに記録されたボリューム情報の値が表示されます。そのステップにボリューム情報が記録されていない場合は、“---”と表示されます。



5. [FUNCTION]キーを押したまま、[VALUE + / -]キーを使ってボリュームの値(0~63)を設定してください。



6. 必要ならば、その他のステップに対しても、操作3~5を繰り返してください。

7. ボリュームの入力を終了するには、[STOP]キーを押してください。

● NOTE ●

1つのステップにテンポ情報とボリューム情報の両方を記録することはできません。最後に設定された情報だけが記録されます。

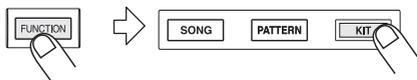
ソング専用のキットを選択する

ソングを再生するとき、特に指定していなければ、それぞれのパターンに記憶されているキットを使ってパターンが演奏されます(パターンが変われば、キットも切り替わります)。しかし、ソング専用のキットを選び、ソング全体をそのキットで演奏することも可能です。

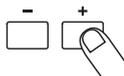
1. ソングモードでキットを選択するソングを選んでください。

2. [FUNCTION]キー→[KIT]キーの順に押してください。

そのソング専用のキット番号が表示されます。Pat(初期設定値)に設定されている場合は、パターンで選ばれているキットが有効となります。



3. [VALUE + / -]キーを使って、そのソング専用のキットを選んでください。



4. キットを選んだら、[FUNCTION]キーを押してください。

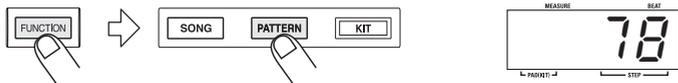
ソング専用のキットが記憶され、ソングモードに戻ります。



ソングのメモリー残量を確認する

ソング専用のメモリーがどれだけ残っているかをパーセント単位で確認できます。その手順は、次の通りです。

1. ソングモードで[FUNCTION]キー→[PATTERN]キーの順に押してください。
ソングメモリーの残量がパーセント単位で表示されます。この項目は表示のみで、変更できません。



2. [FUNCTION]キーを押してください。
ソングモードに戻ります。

ソングをコピーする

ここでは、ソングをコピーする方法について説明します。

1. ソングモードでコピーしたいソングを選んでください。

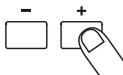
コピー元のソング番号



2. [INSERT/COPY]キーを押してください。
[INSERT/COPY]キーが点滅し、現在のソングがコピー元として選ばれます。
ディスプレイには“CoPy”の文字が点滅表示されます。



3. [VALUE+/-]キーでコピー先のソングを選んでください。



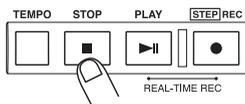
● NOTE ●

コピーを実行すると、コピー先のソング番号にそれまで入っていたソングは消えてしまいます。コピー先のソングを消してもいいかどうかを必ず確認してください。

4. コピーを実行するには[INSERT/COPY]キー、取り消すには[STOP]キーを押してください。



コピーを実行したときは、コピー先のソングが選ばれた状態でソングモードに戻ります。



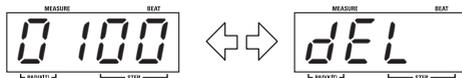
コピーを取り消したときは、コピー元のソングが選ばれた状態でソングモードに戻ります。

単体ソングを消去する

ここでは、ソングを消去する方法について説明します。

1. ソングモードで消去したいソングを選んでください。
2. [DELETE/ERASE]キーを押してください。

[DELETE/ERASE]キーが点滅し、ディスプレイにソング番号と“dEL”という文字が交互に表示されます。



3. ソングの消去を実行したい場合は[DELETE/ERASE]キー、取り消したい場合は[STOP]キーを押してください。



消去を実行した場合は、空のソングが選ばれた状態でソングモードに戻ります。

一度消去したソングは復帰できません。ソングの消去は慎重に行ってください。

HINT

すべてのソング、すべてのユーザーパターン、すべてのユーザーキットを初期化して、工場出荷時の状態に戻すことも可能です。「MRT-3を工場出荷時の状態に戻す」(→P.48)をご参照ください。

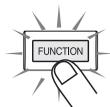
ソングをすべて消去する

必要ならば、ソングをすべて消去することも可能です。

NOTE

消去したソングは、二度と復帰できなくなります。実行する前に消してもいいかどうかを必ず確認してください。

1. ソングモードで演奏が停止しているときに、[FUNCTION]キーを押してください。
[FUNCTION]キーが点滅します。



2. [DELETE/ERASE]キーを押してください。
ディスプレイに“dEL”と“ALL”の文字が交互に表示されます。



3. 消去を実行するには[DELETE/ERASE]キー、取り消すには[STOP]キーを押してください。



[DELETE/ERASE]キーを押すと、ソング1～99がすべて消去され、空の状態に戻ります。

その他の機能

ここでは、これまで説明しなかったMRT-3の便利な使い方や、MRT-3を工場出荷時の状態に戻す特殊機能について説明します。

フットスイッチを使ったリモートコントロール

別売のフットスイッチFS01を使えば、MRT-3のさまざまな機能をリモートコントロールできます。

1. リアパネルの[FOOT SW]端子にFS01を接続してください。
2. パターンモードまたはソングモードで、[FUNCTION]キー→パッド4 (FOOT SW)の順に押してください。

現在選択されているフットスイッチの機能が表示されます。



3. パッドやキーを操作して、フットスイッチの機能を選んでください。

ここから後の操作は、利用したい機能に応じて異なります。選択可能な機能とその設定値は、次の通りです。

● FS01でパッドの音色を鳴らす

FS01を踏んだときに、特定の音色を演奏する機能です。例えば、バスドラムを足元で演奏したいときなどに便利です。

この機能を選ぶには、[FUNCTION]キー→パッド4 (FOOT SW)を押した後で、FS01を踏み、放してから[PAD BANK]キーとパッド1～7を使って、FS01で鳴らしたいパッドを選びます (パッドを叩いて指定したときの強さも記憶されます)。

ディスプレイにはA1～A7、B1～B7のパッド番号が表示されます。

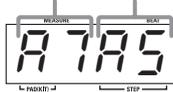
● FS01で特定のパッドの音色を切り替える

特定のパッドに2つのドラム／パーカッション音色を割り当てておき、足元の操作で音色を切り替えます。例えば、オープンハイハットとクローズハイハットの音色を足元で切り替えたいときなどに使用します。

この機能を選ぶには、[FUNCTION]キー→パッド4 (FOOT SW)を押した後で、FS01を踏み、放してから最初のパッドを押し、次に別のパッドを押します。

ディスプレイの下2桁には最初に押したパッド番号、上2桁には次に押したパッド番号が表示されます。

2番目に押したパッド 最初に押したパッド



これで最初に押したパッドの音色を、FS01を使って切り替え可能となります。FS01を踏んでいる間は最初に選んだパッドの音色、放したときは2番目に選んだパッドの音色が演奏できます。また、FS01を踏んだときは、パッドを叩かなくても、最初に選んだパッドの音色が鳴ります。

● FS01でテンポを設定する

FS01に[TEMPO]キーと同等の機能を持たせます。FS01を2回以上踏むことで、テンポ指定が行えます(タップテンポ機能)。

この機能を選ぶには、[FUNCTION]キー→パッド4(FOOT SW)を押した後で、[TEMPO]キーを押します(ディスプレイに“tAP”と表示されます)。

● FS01でスタート/ポーズをコントロールする

FS01に[PLAY]キーと同等の機能を持たせます。FS01を踏むたびに“再生開始”→“一時停止”→“停止位置から再生開始”を繰り返します。

この機能を選ぶには、[FUNCTION]→パッド4(FOOT SW)を押した後で[PLAY]キーを押します(ディスプレイに“Cont”と表示されます)。

● FS01でスタート/ストップをコントロールする

FS01に[PLAY]/[STOP]キーと同等の機能を持たせます。FS01を踏むたびに“再生開始”→“停止”→“先頭から再生開始”を繰り返します。

この機能を選ぶには、[FUNCTION]→パッド4(FOOT SW)を押した後で[STOP]キーを押します(ディスプレイに“Strt”と表示されます)。

● FS01でパターン/ソングをミュートする

フットスイッチを踏んでいる間、パターン/ソングの演奏をミュートします(ミュートしている間も、演奏は続きます)。

この機能を選ぶには、[FUNCTION]→パッド4(FOOT SW)を押した後で[KIT]キーを押します(ディスプレイに“MutE”と表示されます)。

4. 機能を選択したら、[FUNCTION]キーをもう一度押してください。

これでFS01の機能が確定し、MRT-3が元のモードに戻ります。MRT-3を操作しながらフットスイッチを踏んでみて、効果を確認してみましょう。

● NOTE ●

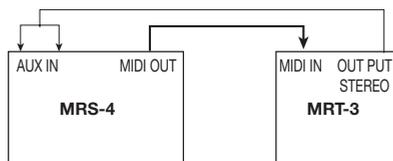
設定値の変更を取り消すことはできません。設定値を元に戻したいときは、再設定してください。

外部機器と同期演奏させる

MRT-3とMIDI OUT端子を装備したシーケンサー／レコーダーとの間で、同期演奏が行えます。この場合は、外部のシーケンサー／レコーダー側で決められたテンポに合わせて、MRT-3のパターンやソングが再生されます。

1. MIDIシーケンサー／レコーダーのMIDI OUT端子と、MRT-3の[MIDI IN]端子をMIDIケーブルで接続してください。

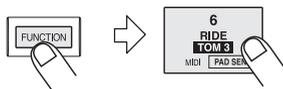
例えば次の図は、マルチトラックレコーディングスタジオ ZOOM MRS-4とMRT-3を接続した場合の例です。この図のように、MRT-3の出力をMRS-4のAUX IN端子に接続すれば、オーディオトラックを犠牲にすることなく、MRT-3を追加のリズム専用トラックとして活用できます。



● NOTE ●

外部MIDIシーケンサー／レコーダーが、MIDIクロック、スタート、ストップ、コンティニューを送信可能な状態にあることを確認してください。

2. パターンモードまたはソングモードで[FUNCTION]キー→パッド6 (MIDI) の順に押してください。



ディスプレイに、MRT-3が現在どんなクロックを基準に動作しているかが表示されます。それぞれの表示の意味は、次の通りです。

● Int (インターナル)

MRT-3が内部クロックで動作します (初期設定)。MRT-3を単独で使用するときは、この設定を選びます。

● Midi (MIDIクロック)

MRT-3が外部機器 (MIDIシーケンサー／レコーダーなど) からMIDIクロックを受信し、そのテンポに合わせて同期走行します。また、トランスポート操作 (演奏開始、停止、再開)、ロケート操作 (現在位置の移動) も、すべて外部機器からリモートコントロールできます。

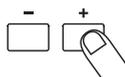
● rMt (リモート)

MRT-3が内部クロックで動作するのは“Int”と同じです。ただし、トランスポート操作のみ外部機器からリモートコントロールできる点が異なります。

それぞれの項目を選んだときのクロックソース、および受信可能なMIDIメッセージは次の通りです。

	Int	Midi	rMt
クロックソース	内部クロック	MIDIクロック	内部クロック
スタート/ストップ/コンティニューの受信	×	○	○
ソングポジションポインターの受信	×	○	×

3. [VALUE +/-]キーを使って、表示を“Midi”または“rMt”に切り替えてください。



MRT-3のテンポ、トランスポート操作、ロケート操作をすべて外部機器からリモートコントロールしたいときは、“Midi”を選びます。この場合、MRT-3内部で設定したテンポ情報はすべて無効となります。外部機器側でテンポを設定してください。

MRT-3のトランスポート操作のみを外部機器からリモートコントロールしたいときは“rMt”を選びます。この場合は、MRT-3内部で設定したテンポ情報が有効となります（ただし、MRT-3のテンポと外部機器のテンポは同期していないため、曲の途中からお互いの位置を合わせて再生することはできません）。

4. もう一度[FUNCTION]キーを押してください。

以前のモードに戻ります。



5. 同期演奏するソングまたはパターンを選んでください。

6. MIDIシーケンサー/レコーダーの再生を開始してください。

● クロックソースとして“Midi”を選んだ場合

MIDIシーケンサー/レコーダーから送信されるMIDIクロックのテンポに合わせて、MRT-3がシーケンス/ソングの先頭から演奏を開始します。MIDIシーケンサー/レコーダーを停止すると、MRT-3も止まります。

また、MIDIシーケンサー/レコーダーを曲の途中に移動させて再生すると、MRT-3もその位置から演奏を開始します。

● クロックソースとして“rMt”を選んだ場合

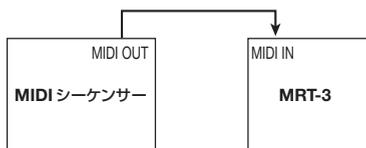
MRT-3の内部で設定されたテンポに従って、シーケンス/ソングの先頭から演奏を開始します。MIDIシーケンサー/レコーダーを停止すると、MRT-3も止まります。

ただし、MIDIシーケンサー/レコーダーを曲の途中に移動させて再生しても、MRT-3をその位置から演奏させることはできません。

外部MIDI機器からMRT-3の音を鳴らす

外部のMIDIシーケンサーやMIDIキーボードを使って、MRT-3の内蔵音源を鳴らすことができます。これを行うには、MRT-3の受信MIDIチャンネルを外部機器の送信MIDIチャンネルに合わせる必要があります。

1. MIDIシーケンサーなどMIDI機器のMIDI OUT端子と、MRT-3の[MIDI IN]端子をMIDIケーブルで接続してください。



2. パターンモードまたはソングモードで、[FUNCTION]キー→パッド6 (MIDI) の順に押ししてください。

MRT-3が動作するクロックの種類が表示されます。



3. [KIT]キーを押し、そのまま押し続けてください。

[KIT]キーを押している間、ディスプレイに現在設定されている受信MIDIチャンネルが表示されます (初期設定値 = 10)。



4. [VALUE +/-]キーを使って受信MIDIチャンネルを設定してください。

受信MIDIチャンネルは、OFF (MIDIメッセージを受信しない)、1 ~ 16の中から選択できます。



5. 設定が終わったら、もう一度[FUNCTION]キーを押してください。

以前のモードに戻ります。



6. 外部MIDIシーケンサーやキーボードを演奏してください。

[MIDI IN]端子に入力されたノートナンバーに応じてMRT-3のドラム/パーカッション音が鳴ります。ノートナンバーごとに割り当てられた音色については、巻末の資料をご参照ください。また、MRT-3にプログラムチェンジメッセージを送り、キットを切り替えることも可能です。プログラムチェンジナンバーごとに割り当てられたキットについては、巻末の資料をご参照ください。

パターン/ソングの演奏をスウィングさせる

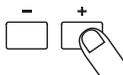
パターン/ソングを再生するときのスウィング量(リズムの跳ね具合)を調節できます。この設定は、すべてのパターン、すべてのソングに対して共通です。

1. パターンモードまたはソングモードで、[FUNCTION]キー→パッド7 (SWING)の順に押ししてください。

現在設定されているスウィング量が表示されます(初期設定値=50)。



2. [VALUE +/-]キーを使って、スウィング量を設定してください。



スウィング量の可変範囲は50~75です。初期設定値の50(スウィングなし)から数値を上げていくと、1拍の中の表(ダウンビート)と裏(アップビート)との幅が広がり、リズムが跳ねていきます。



HINT

必要ならば、[PLAY]キーを押してパターンを再生して、効果を確認できます。

3. 設定が終わったら、もう一度[FUNCTION]キーを押してください。



直前のモードに戻ります。

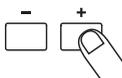
リアルタイム録音時のプリカウントを設定する

リアルタイム録音を行うときのプリカウントのオン/オフ、およびプリカウントをオンにしたときの長さを設定します。この設定は、すべてのパターンに対して共通です。

1. パターンモードで[FUNCTION]キー→パッド2 (PRE COUNT) の順に押してください。
プリカウントの現在の設定値が表示されます (初期設定値 = 1)。



2. [VALUE +/-]キーを使って、次の中から設定値を選んでください。



- 0 ……プリカウントなし
- 1 ……1小節のプリカウントあり
- 2 ……2小節のプリカウントあり
- PAd ……いずれかのパッドを叩いた瞬間に録音開始

HINT

PAdを選んだ場合、パターンモードで[REC]キーを押しながら[PLAY]キーを押すと、ディスプレイに“rEAdy”と表示され、録音待機状態となります。

3. 設定が終わったら、もう一度[FUNCTION]キーを押してください。



直前のモードに戻ります。

MRT-3を工場出荷時の状態に戻す

MRT-3に記録されているすべてのデータを初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

● NOTE ●

初期化を実行すると、新たに作成したユーザーパターン、ソング、ユーザーキットの内容は消去されてしまいます。以下の操作は、慎重に行ってください。

1. [REC]キーを押したままMRT-3の電源を入れてください。

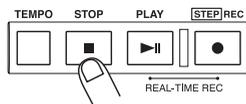
ディスプレイに“Init”という文字が点滅表示されます。



2. 初期化を実行するにはもう一度[REC]キーを押してください。また、初期化を取り消す場合は[STOP]キーを押してください。



初期化を実行すると、内部のデータが工場出荷時の状態に戻り、MRT-3が再起動します。



初期化を取り消したときは、通常電源を入れたときと同じ状態でMRT-3が起動します。

故障かな？と思われる前に

MRT-3の動作がおかしいと感じたときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼になる前に、つぎの項目をご確認ください

音がでない、または非常に小さい

- ・ [POWER]スイッチはオンになっていますか？
「演奏前の準備」の説明(8ページ)に従って、電源を入れてください。
- ・ [OUTPUT]端子と再生装置が正しく接続されていますか？
「接続しましょう」の説明(7ページ)に従って正しく接続してください。
- ・ ご使用のシールドケーブルは正常ですか？
他のシールドケーブルに交換してみてください。
- ・ 接続している再生装置は正常に動作していますか？ボリュームは適切ですか？
各装置の動作を確認して、適切な音量に調節してください。
- ・ MRT-3のボリュームは適切ですか？
[OUTPUT LEVEL]コントロールを、適切な音量になるように調節してください。

音が歪む、割れる

- ・ MRT-3の出力信号が大きすぎませんか？
[OUTPUT LEVEL]コントロールを、適切な音量になるように調節してください。

パターンに記録できない

- ・ パターンモード以外のモードが選ばれていませんか？
パターンモードを選んでください(14ページ)。
- ・ メモリーを使い切っていないですか？
不要なパターンやソングを消去してください。

ソングに記録できない

- ・ ソングモード以外のモードが選ばれていませんか？
ソングモードを選んでください(33ページ)。
- ・ メモリーを使い切っていないですか？
不要なパターンやソングを消去してください。

再生音がステレオにならない

- ・ [OUTPUT STEREO/PHONES]端子にY字ケーブルを接続していますか？
「接続しましょう」の説明(7ページ)に従って正しく接続してください。
- ・ パンの設定は適切ですか？
現在使用しているキットで、各楽器音のパンが適切に設定されているかを確認してください(28ページ)。

FS01の効果がでない

- ・ FS01が[FOOT SW]端子に正しく接続されていますか？
「接続しましょう」の説明(7ページ)に従って、正しく接続してください。
- ・ FS01の機能が正しく設定されていましたか？
[FUNCTION]キーとパッド4(FOOT SW)を使って、適切な機能を選んでください(42ページ)。

製品仕様

・ サンプル周波数	47.6kHz
・ D/A変換	16bit リニア
・ 同時発音数	21 ボイス
・ 分解能	96クロック/4分音符
・ テンポ	40~250
・ 録音可能ノート数/イベント数	20,000音
・ インスト	199
・ ドラムキット	70(プリセット50、ユーザー20)
・ リズムパターン	495(プリセット396、ユーザー99)
・ ソング	99
・ PAD	7PAD(ペロシティーセンサ付き)
表示	4桁7セグメントLED
外部端子	
・ コントロール	FOOT SW IN
・ MIDI	MIDI IN
出力	
・ MONO OUT	標準モノラルフォンジャック (最大出力レベル: +3dBm/ 出力負荷インピーダンス: 10kΩ以上時)
・ STEREO OUT	標準ステレオフォンジャック/ヘッドフォン兼用 (最大出力レベル: +3dBm/ 出力負荷インピーダンス: 10kΩ以上時)
電源	ACアダプター : DC9V センターマイナス300mA (ZOOM AD-0006) 電池 : 単三乾電池×4本 電池連続使用 約15時間(アルカリ電池使用)
外形寸法	144mm(W)×165mm(D)×52mm(H)
重量	440g(電池含まず)
付属品	取扱説明書

0 dBm = 0.775 Vrms

製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

キットリスト

KIT#	KIT NAME	MIDI PC#
01	Live Rock	3
02	Studio	4
03	Standard	5
04	Funk Trap	6
05	Epic Rock	7
06	Ballad	8
07	Modern	10
08	Rap/HipHop	11
09	Techno Beat	12
10	General Drum	13, 33
11	Live Rock variation 1	14
12	Live Rock variation 2	15
13	Live Rock variation 3	16
14	Studio variation 1	18
15	Studio variation 2	2, 19
16	Studio variation 3	20
17	Standard variation 1	1, 21
18	Standard variation 2	22
19	Standard variation 3	23
20	Funk Trap variation 1	24
21	Funk Trap variation 2	27
22	Funk Trap variation 3	28
23	Epic Rock variation 1	29
24	Epic Rock variation 2	30
25	Ballad variation 1	31
26	Ballad variation 2	32
27	Modern variation 1	34
28	Modern variation 2	35
29	Rap/HipHop variation 1	36
30	Rap/HipHop variation 2	37
31	Rap/HipHop variation 3	38
32	Techno Beat variation 1	39
33	Techno Beat variation 2	40
34	Techno Beat variation 3	42
35	General Drum Room	9, 43
36	General Drum Power	17, 44
37	General Drum Electronic	25, 45
38	General Drum Analog	26, 46
39	General Drum Brush	41, 47
40	Latin Special	48
41	Percussions	49
42	Live Rock Mastering	50
43	Studio Mastering	51
44	Funk Trap Mastering	52
45	Epic Rock Mastering	53
46	Ballad Mastering	54
47	Modern Mastering	55
48	Power-benddown	56
49	Special Effect Sounds 1	57
50	Special Effect Sounds 2	58

KIT#	KIT NAME	MIDI PC#
51	USER 51	59
}	}	}
70	USER 70	78

	PRESET 01	79
	}	}
	PRESET 50	128

MIDI ノートナンバー対応表

Note #	INST NAME	PAD #
24		
25		
26		
27	High Q	
28	Slap	
29	Scratch Push	
30	Scratch Pull	
31	Sticks	
32	Square Click	
33	Metronome Click	
34	Metronome Bell	
35	KICK 2	PAD B-1
36	KICK 1	PAD A-1
37	EXTRA1(Side Stick)	PAD B-5
38	SNARE 1	PAD A-3
39	EXTRA2(Hand Clap)	PAD B-7
40	SNARE 2	PAD B-3
41	(TOM 3)	(PAD B-6)
42	CLOSED HAT	PAD A-5
43	TOM 3	PAD B-6
44	Pedal HiHat	
45	(TOM 2)	(PAD B-4)
46	OPEN HAT	PAD A-7
47	TOM 2	PAD B-4
48	(TOM 1)	(PAD B-2)
49	CRASH	PAD A-2
50	TOM 1	PAD B-2
51	RIDE	PAD A-6
52	Chinese Cymbal	
53	CUP	PAD A-4
54	Tambourine	
55	Splash Cymbal	
56	Cowbell	
57	Crash Cymbal 2	(PAD A-2)
58	Vibraslap	
59	Ride Cymbal 2	

Note #	INST NAME	
※中央C		
60	High Bongo	
61	Low Bongo	
62	Mute High Conga	
63	Open High Conga	
64	Low Conga	
65	High Timbale	
66	Low Timbale	
67	High Agogo	
68	Low Agogo	
69	Cabasa	
70	Maracas	
71	Short Whistle	
72	Long Whistle	
73	Short Guiro	
74	Long Guiro	
75	Claves	
76	High Wood Block	
77	Low Wood Block	
78	Mute Cuica	
79	Open Cuica	
80	Mute Triangle	
81	Open Triangle	
82	Shaker	
83	Jingle Bell	
84	Belltrees	
85	Castanets	
86	Mute Surdo	
87	Open Surdo	
88		

インストゥルメントリスト

Category	Inst #	Name
1: KICK	1	Live Kick 1
	2	Live Kick 2
	3	Studio Booth Kick
	4	Small Booth Kick
	5	Middle Booth Kick
	6	Muted Kick
	7	Tight Shell Kick
	8	Huge Kick
	9	Deep Hard beater Kick
	10	Ambient Kick
	11	Stage Ambient Kick 1
	12	Stage Ambient Kick 2
	13	Dry Kick
	14	Resonated Kick
	15	Deep Shell Kick
	16	Deep Muffed Kick
	17	Analog Kick
	18	Short Analog Kick
	19	DIGI-ANA Kick
	20	Long DIGI-ANA Kick
	21	Synth Kick
	22	Velocity Bend Kick
2: SNARE	1	Live Ambient 1
	2	Live Ambient 2
	3	Booth Ambient
	4	Booth Dry
	5	Dry Snappy
	6	Dry High Tuned
	7	High Tuned 1
	8	High Tuned 2
	9	High Tuned 3
	10	Deep Body Ambient
	11	Deep Snappy
	12	High Tensioned Snappy
	13	Tight Muted
	14	Resonated Tuning
	15	Tighten Gate
	16	Mono Analog
	17	Stereo Analog
	18	Mono DIGI-ANA
	19	Stereo DIGI-ANA
	20	Reverb Snare 1
	21	Reverb Snare 2
	22	Room Snare
	23	Power Snare
	24	Electric Snare
	25	Brush Short
	26	Brush Long
	27	Brush Slap
	28	Bend Down

Category	Inst #	Name
3: TOM	1	Live Tom 1
	2	Live Tom 2
	3	Live Floor
	4	Studio Tom 1
	5	Studio Tom 2
	6	Studio Floor
	7	Dry Tom 1
	8	Dry Tom 2
	9	Dry Floor
	10	Loose Tom 1
	11	Loose Tom 2
	12	Loose Floor
	13	Ambient Tom 1
	14	Ambient Tom 2
	15	Ambient Floor
	16	Low Tune Tom 1
	17	Low Tune Tom 2
	18	Low Tune Floor
	19	Hard Hit Tom 1
	20	Hard Hit Tom 2
	21	Hard Hit Floor
	22	808 Tom 1
	23	808 Tom 2
	24	808 Floor
	25	Power Gate Tom 1
	26	Power Gate Tom 2
	27	Power Gate Floor
	28	Acoustic Tom 1
	29	Acoustic Tom 2
	30	Acoustic Floor
	31	Room Tom 1
	32	Room Tom 2
	33	Room Floor
	34	Electric Tom 1
	35	Electric Tom 2
	36	Electric Floor
	37	Bend Down Tom 1
	38	Bend Down Tom 2
	39	Bend Down Floor
	40	TOMVERB
	41	FLOORVERB
	42	Synth Drum Tom
4: HI HATS	1	Live Close-Hat
	2	Live Open-Hat
	3	Studio Close-Hat
	4	Clear Close-Hat
	5	Clear Open-Hat
	6	Analog Close-Hat
	7	Analog Open-Hat
	8	DIGI-ANA Close-Hat

Category	Inst #	Name
4: HI HATS	9	DIGI-ANA Open-Hat
	10	Acoustic Foot-Hat
	11	Acoustic Short Foot
	12	Analog Foot-Hat
	13	Bend Down Close-Hat
	14	Bend Down Open-Hat
5: CYMBAL	15	Bend Down Foot-Hat
	1	Crash 1
	2	Crash 2
	3	Analog Crash
	4	Thin Crash
	5	Splash 1
	6	Splash 2
	7	Bend Down Crash
	8	China 1
	9	China 2
	10	Ride 1
	11	Ride 2
	12	Ride 3
	13	Bend Down Ride
	14	Cup
15	SFX Cup	
6: EXTRA	1	Live Rim
	2	Live Long Rim
	3	Dry Rim
	4	Velocity Bend Down Rim
	5	Cowbell 1
	6	Analog Cowbell
	7	Velocity Bend Down Cowbell
	8	Live Tambourine
	9	Velocity Bend Down Tambourine
	10	Clap
	11	Filtered Clap
	12	Velocity Bend Down Clap
	13	Analog Claves
	14	DIGI-ANA Snap
	15	Click Noise
7: GLOBAL	1	High Q
	2	Slap
	3	Scratch Push
	4	Scratch Pull
	5	Sticks
	6	Square Click
	7	Metronome Click
	8	Metronome Bell
	9	Tambourine
	10	Vibraslap
	11	High Bongo
	12	Low Bongo
	13	Mute High Conga

Category	Inst #	Name	
7: GLOBAL	14	Open High Conga 1	
	15	Open High Conga 2	
	16	Low Conga	
	17	High Timbale	
	18	Low Timbale	
	19	High Agogo	
	20	Low Agogo	
	21	Cabasa	
	22	Maracas	
	23	Short High Whistle	
	24	Long Whistle	
	25	Short Guiro	
	26	Long Guiro	
	27	Claves	
	28	High Wood Block	
	29	Low Wood Block	
	30	Mute Cuica	
	31	Open Cuica	
	32	Mute Triangle	
	33	Open Triangle	
	34	Shaker	
	35	Jingle Bell	
	36	Bell Tree	
	37	Castanets	
	38	Mute Surdo	
	39	Open Surdo	
	8: SFX	1	Filter Swept Cymbal
		2	Gamelan
		3	Bass Slide
		4	REV Wet 1
		5	REV Wet 2
		6	Bell
		7	Odaiko
		8	ChuDaiko
		9	Oedo
		10	Chinese Temple
		11	Mokugyo
		12	Huge Clock
		13	UFO
14	Door Close		
15	Door Open		
16	Kishimi		
17	Sliding		
18	Engine Cell		
19	Sonar		
20	Space		
21	Sequence		
22	Minor7		
23	Major7		

パターンリスト

表示	パターンネーム	KIT
A01	08Beat01	1
A02	08Beat02	1
A03	08Beat03	1
A04	08Beat04	1
A05	08Beat05	2
A06	08Beat06	2
A07	08Beat07	4
A08	08Beat08	4
A09	08Beat09	4
A10	08Beat10	4
A11	08Beat11	20
A12	08Beat12	20
A13	16Beat01	35
A14	16Beat02	35
A15	16Beat03	6
A16	16Beat04	6
A17	16Beat05	6
A18	16Beat06	6
A19	16Beat07	2
A20	16Beat08	2
A21	16FUS01	36
A22	16FUS02	36
A23	JAZZ01	14
A24	JAZZ02	26
A25	JAZZ03	25
A26	JAZZ04	14
A27	BOSSA	40
A28	CNTRY	3
A29	68BLUS	6
A30	DANCE	10
A31	Rock01	5
A32	Rock02	15
A33	Rock03	23
A34	Rock04	4
A35	Rock05	4
A36	Rock06	7
A37	Rock07	23
A38	Rock08	36
A39	Rock09	3
A40	Rock10	7
A41	Rock11	2
A42	Rock12	1
A43	Rock13	20
A44	Rock14	20
A45	Rock15	3
A46	Rock16	3
A47	Rock17	1
A48	Rock18	3
A49	Rock19	36
A50	Rock20	1

表示	パターンネーム	KIT
A51	Rock21(shuffle)	2
A52	Rock22(shuffle)	14
A53	Rock23	4
A54	Rock24	1
A55	Rock25	1
A56	Rock26	4
A57	Rock27	1
A58	Rock28	4
A59	Rock29	1
A60	Rock30	2
A61	Rock31	1
A62	Rock32	4
A63	Rock33	1
A64	Rock34	14
A65	Rock35T	1
A66	HRK01	1
A67	HRK02	24
A68	HRK03	13
A69	HRK04	13
A70	HRK05	17
A71	HRK06	5
A72	HRK07(shuffle)	17
A73	HRK08	1
A74	HRK09	24
A75	HRK10	2
A76	HRK11	1
A77	MTL01	11
A78	MTL02	1
A79	MTL03	1
A80	MTL04	35
A81	MTL05	1
A82	MTL06	4
A83	THRS01	36
A84	THRS02	36
A85	THRS03	1
A86	PUNK01	24
A87	PUNK02	11
A88	FUS01	20
A89	FUS02	4
A90	FUS03	20
A91	FUS04	22
A92	FUS05	22
A93	FUS06	18
A94	FUS07	4
A95	FUS08	17
A96	FUS09	4
A97	FUS10	10
A98	FUS11	10
A99	FUS12	3

表示	パターンネーム	KIT
B01	POP01	3
B02	POP02	3
B03	POP03	18
B04	POP04	18
B05	POP05	3
B06	POP06	17
B07	POP07	17
B08	POP08	17
B09	POP09	17
B10	POP10(shuffle)	4
B11	POP11(shuffle)	22
B12	POP12	32
B13	POP13	33
B14	POP14	22
B15	POP15	40
B16	POP16	2
B17	POP17	35
B18	POP18	20
B19	POP19T	26
B20	RnB01	20
B21	RnB02	4
B22	RnB03	6
B23	RnB04	2
B24	RnB05	4
B25	RnB06	27
B26	RnB07	10
B27	RnB08	11
B28	RnB09(shuffle)	15
B29	RnB10	1
B30	RnB11	4
B31	RnB12	22
B32	RnB13	8
B33	RnB14	35
B34	FUNK01	22
B35	FUNK02	4
B36	FUNK03	14
B37	FUNK04	14
B38	FUNK05	13
B39	FUNK06	21
B40	FUNK07	4
B41	FUNK08	4
B42	FUNK09	4
B43	FUNK10	19
B44	FUNK11	3
B45	FUNK12	19
B46	FUNK13	6
B47	FUNK14	22
B48	FUNK15	2
B49	16ROCK01	20
B50	16ROCK02	21

表示	パターンネーム	KIT
B51	16ROCK03	4
B52	16ROCK04	4
B53	16ROCK05	4
B54	16ROCK06	2
B55	GrvDrm01	40
B56	GrvDrm02	4
B57	GrvDrm03	1
B58	BALD01	40
B59	BALD02	2
B60	BALD03	40
B61	BALD04	6
B62	BALD05	20
B63	BALD06	20
B64	BALD07(shuffle)	3
B65	BALD08(shuffle)	3
B66	BALD09(shuffle)	3
B67	BALD10(shuffle)	7
B68	BALD11(shuffle)	7
B69	BALD12T	4
B70	BALD13T	5
B71	BLUS01(shuffle)	11
B72	BLUS02(shuffle)	20
B73	BLUS03(shuffle)	20
B74	BLUS04(shuffle)	11
B75	BLUS05(shuffle)	11
B76	BLUS06T	7
B77	BLUS07T	1
B78	BLUS08T	17
B79	CNTR01	18
B80	CNTR02	3
B81	CNTR03	3
B82	CNTR04	17
B83	CNTR05	40
B84	JAZZ01	3
B85	JAZZ02	4
B86	JAZZ03	4
B87	JAZZ04	3
B88	JAZZ05	4
B89	JAZZ06	40
B90	JAZZ07	7
B91	JAZZ08T	3
B92	JAZZ09P	40
B93	SHFL01	15
B94	SHFL02	15
B95	SHFL03	14
B96	SHFL04	2
B97	SHFL05	2
B98	SHFL06	4
B99	SHFL07	4

表示	パターンネーム	KIT
C01	HIP01	33
C02	HIP02	8
C03	HIP03	17
C04	HIP04	9
C05	HIP05	8
C06	HIP06	24
C07	HIP07	9
C08	HIP08	9
C09	HIP09	1
C10	HIP10	3
C11	HIP11	3
C12	HIP12	39
C13	HIP13	8
C14	HIP14	24
C15	HIP15	1
C16	HIP16	31
C17	HIP17	9
C18	HIP18	30
C19	HIP19	11
C20	HIP20	4
C21	HIP21	4
C22	HIP22	3
C23	HIP23	30
C24	HIP24	5
C25	HIP25	8
C26	HIP26	4
C27	HIP27	9
C28	HIP28	30
C29	HIP29	33
C30	HIP30	33
C31	HIP31	40
C32	HIP32	40
C33	DANC01	33
C34	DANC02	21
C35	DANC03	40
C36	DANC04	21
C37	DANC05	9
C38	DANC06	40
C39	DANC07	33
C40	HOUS01	40
C41	HOUS02	8
C42	HOUS03	40
C43	HOUS04	40
C44	HOUS05	9
C45	HOUS06	34
C46	TECH01	8
C47	TECH02	9
C48	TECH03	9
C49	TECH04	8
C50	TECH05	9

表示	パターンネーム	KIT
C51	TECH06	9
C52	TECH07	8
C53	TECH08	40
C54	DnB01	32
C55	DnB02	8
C56	DnB03	4
C57	DnB04	9
C58	DnB05	30
C59	DnB06	22
C60	DnB07	29
C61	TRIP01	34
C62	TRIP02	3
C63	TRIP03	34
C64	AMB01	22
C65	AMB02	2
C66	AMB03	1
C67	AMB04	4
C68	INDUSTRIAL01	23
C69	INDUSTRIAL02	24
C70	INDUSTRIAL03	9
C71	REGG01	18
C72	REGG02	21
C73	REGG03	40
C74	REGG04	40
C75	SKA01	20
C76	SKA02	18
C77	SKA03	15
C78	LATN01	40
C79	LATN02	40
C80	LATN03	40
C81	LATN04	40
C82	LATN05	40
C83	LATN06	40
C84	LATN07	40
C85	LATN08	40
C86	LATN09	40
C87	LATN10	4
C88	LATN11	4
C89	LATN12	18
C90	BOSSA01	40
C91	SAMBA01	4
C92	SAMBA02	22
C93	AFRO01	16
C94	AFRO02	40
C95	AFRO03	40
C96	MidE01	13
C97	MidE02	3
C98	MidE03	40
C99	MidE04T	22

表示	パターンネーム	KIT
D01	INTRO01	1
D02	INTRO02	1
D03	INTRO03	2
D04	INTRO04	4
D05	INTRO05	3
D06	INTRO06	20
D07	INTRO07	5
D08	INTRO08	6
D09	INTRO09(shuffle)	1
D10	INTRO10	5
D11	INTRO11	20
D12	INTRO12	2
D13	INTRO13	3
D14	INTRO14	20
D15	INTRO15	3
D16	INTRO16	6
D17	INTRO17	19
D18	INTRO18	4
D19	INTRO19	14
D20	ROCK-FILL01	2
D21	ROCK-FILL02	2
D22	ROCK-FILL03	1
D23	ROCK-FILL04	1
D24	ROCK-FILL05	4
D25	ROCK-FILL06	5
D26	ROCK-FILL07	1
D27	ROCK-FILL08	4
D28	ROCK-FILL09	5
D29	HARDROCK-FILL01	14
D30	HARDROCK-FILL02	4
D31	HARDROCK-FILL03	6
D32	HARDROCK-FILL04	14
D33	METAL-FILL01	6
D34	METAL-FILL02	6
D35	THRASH-FILL01	2
D36	FUSION-FILL01	22
D37	FUSION-FILL02	35
D38	FUSION-FILL03	35
D39	FUSION-FILL04	4
D40	FUSION-FILL05	4
D41	FUSION-FILL06	4
D42	POPS-FILL01	3
D43	POPS-FILL02	17
D44	POPS-FILL03	18
D45	POPS-FILL04	3
D46	POPS-FILL05	17
D47	POPS-FILL06	17
D48	POPS-FILL07	18
D49	RnB-FILL01	7
D50	RnB-FILL02	19

表示	パターンネーム	KIT
D51	FUNK-FILL01	4
D52	FUNK-FILL02	4
D53	FUNK-FILL03	20
D54	FUNK-FILL04	20
D55	GROOVE-FILL01	4
D56	GROOVE-FILL02	22
D57	BALAD-FILL01	7
D58	BALAD-FILL02	7
D59	BLUES-FILL03	20
D60	BLUES-FILL04	20
D61	COUNTRY-FILL01	3
D62	COUNTRY-FILL02	3
D63	JAZZ-FILL01	6
D64	JAZZ-FILL02	6
D65	SHUFFLE-FILL01	23
D66	SHUFFLE-FILL02	1
D67	HIP-FILL01	8
D68	HIP-FILL02	30
D69	DANCE-FILL01	9
D70	DANCE-FILL02	9
D71	DANCE-FILL03	32
D72	DANCE-FILL04	33
D73	HOUSE-FILL01	4
D74	HOUSE-FILL02	40
D75	TECHNO-FILL01	9
D76	TECHNO-FILL02	9
D77	DRUMnBAS-FILL01	22
D78	DRUMnBAS-FILL02	21
D79	AMBIENT-FILL01	24
D80	AMBIENT-FILL02	4
D81	INDUSTRIAL-FILL01	23
D82	SHUFFLE-FILL01	15
D83	REGGAE-FILL01	21
D84	REGGAE-FILL02	21
D85	LATIN-FILL01	4
D86	LATIN-FILL02	4
D87	BOSSA-FILL01	18
D88	BOSSA-FILL02	4
D89	AFRO-FILL01	40
D90	AFRO-FILL01	40
D91	MidE-FILL01	4
D92	MidE-FILL02	40
D93	ENDING01	1
D94	ENDING02	2
D95	ENDING03	4
D96	ENDING04	3
D97	ENDING05	6
D98	ENDING06	6
D99	ENDING07	4

MIDIインプリメンテーションチャート

[DRUM MACHINE]
Model MRT-3 MIDI Implementation Chart

Date : 20.Feb.,2002
Version :1.00

Function ...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed		1-16 1-16	Memorized
Mode	Default Messages Altered	*****	3	
Note Number	True voice	*****	0-127	
Velocity	Note ON Note OFF		o x	
After Touch	Key's Ch's		x x	
Pitch Bend			x	
Control			7 11	Volume Expression
Change			120	All Sounds Off
Prog Change	True #	*****	o 0-127	
System Exclusive			x	
System Common	Song Pos Song Sel Tune		o o x	
System Real Time	Clock Commands		o o	
Aux Messages	Local ON/OFF All Notes OFF Active Sense Reset		x o x x	
Notes	No messages will be transmitted.			

Mode 1 : OMNI ON, POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
x : No

索引

◆ ディスプレイ ◆

<i>ALL</i> (ALL)	25, 41
<i>Copy</i> (COPY)	23, 30, 39
<i>DEL</i> (DEL)	24, 40
<i>DEMO</i> (DEMO)	11
<i>FULL</i> (FULL)	18, 20, 34
<i>INIT</i> (INIT)	49
<i>INT</i> (INT)	46
<i>MIDI</i> (MIDI)	45
<i>NORM</i> (NORM)	29
<i>PAT</i> (PAT)	38
<i>READY</i> (READY)	48
<i>STRT</i> (STRT)	42

◆ 英文字 ◆

ACアダプター	7
MIDIインプリメンテーション	60
MIDIインプリメンテーションチャート	61
MIDI機器	
MRT-3の音を鳴らす	46
同期	44
MIDIノートナンバー対応表	53

◆ あ ◆

インストールメントリスト	54
インストチューン	28
インストパン	28
インストレベル	29

◆ か ◆

キット	10
コピー	30
選択	12
ユーザーキットの編集	26
キットモード	26
キットリスト	52
キットレベル	29
クオンタイズ	17
クロックソース	45
工場出荷時の状態に戻す	49

◆ さ ◆

初期化	49
スウィング	47
ステップ録音	19
接続例	7
ソング	9, 32
キットの選択	38
コピー	39
ステップの削除	34
ステップの挿入	34
すべてのソングの消去	41
単体ソングの消去	40
テンポチェンジ	36

パターン記録	33
ボリュームチェンジ	37
メモリー残量	39
ソング専用キット	32
ソングモード	32

◆ た ◆

デモソング	11
電池で使うには	8
テンポ	15
テンポチェンジ	32
同期演奏	44

◆ は ◆

パターン	9
コピー	23
再生	14
ステップ録音	19
すべてのユーザーパターンの 消去	25
単体ユーザーパターンの消去	24
テンポ	15
ユーザーパターンの長さを 変える	21
ユーザーパターンの拍子を 変える	22
リアルタイム録音	16
パターンモード	14
パターンリスト	56
パッド	10, 12
パッドインスト	28
パッドセンス	29
パッドバンク	10, 12
バンク	9
切り替え	14
フットスイッチ	42
ブリカウント	48
プリセットキット	10
プリセットパターン	9
ボリュームチェンジ	32

◆ ま ◆

マスターテンポ	32
---------	----

◆ や ◆

ユーザーキット	10
ユーザーパターン	9

◆ ら ◆

リアルタイム録音	16
----------	----



株式会社ズーム

〒183-0022

東京都府中市宮西町2-10-2 ノアビル1階

TEL: 042-369-7111 FAX: 042-369-7115

ホームページ <http://www.zoom.co.jp>

MRT-3- 5010-1